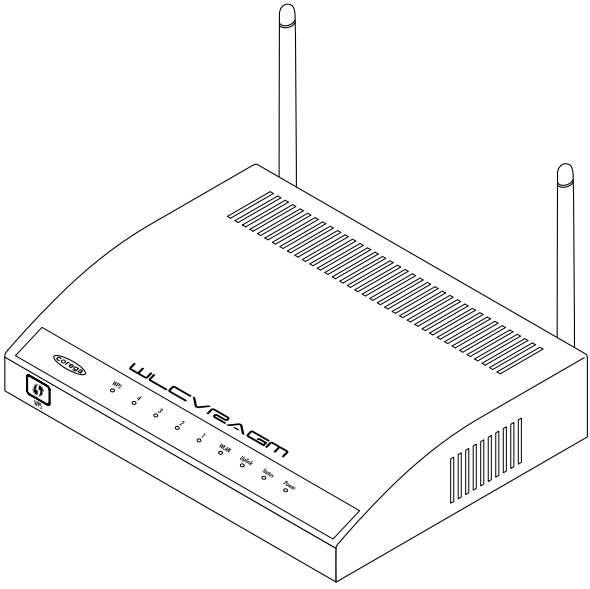
corega

CG-WLCVRAGM
取扱説明書



※ 5GHz 帯を屋外で使用することは電波法により禁止されています。IEEE802.11a（J52/W52/W53）は屋外で使用することはできませんのでご注意ください。

お使いになる前にお読みください 1
クライアントモード
本商品の設置と設定 2
設定画面の詳細説明 3
アクセスポイントモード
本商品の設置と設定 4
設定画面の詳細説明 5
トラブル解決とQ&A Q&A

Y613-15370-00 Rev.A

安全にお使いいただくためにお読みください

ここには、使用者および他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、ご購入いただいた商品を安全に正しくお使いいただくための注意事項が記載されています。使用されている警告表示および絵記号の意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ本文をお読みください。

警告表示の説明

⚠ 警告	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠ 警告

家庭用電源（AC100V）以外では絶対に使用しないでください。
異なる電圧で使用すると発煙、火災、感電、故障の原因となります。

必ず付属の専用 AC アダプタ（または電源ケーブル）を使用してください。
本商品付属以外の AC アダプタ（または電源ケーブル）の使用は火災、感電、故障の原因となります。

電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。
電源ケーブルに重いものをのせたり、加熱や無理な曲げ、ねじり、引っ張ったりすると電源ケーブルを破損し火災、感電の原因となります。また、電源ケーブル（または AC アダプタ）をコンセントから抜くときにケーブル部を持って抜かないでください。

本商品（AC アダプタ含む）は風通しの悪い場所に設置しないでください。
過熱し、火災や破損の原因となることがあります。

本商品（AC アダプタ含む）を分解や改造はしないでください。
感電、火災、けが、故障の原因となります。

⚠ 警告

本商品の通風孔などから液体や異物が内部に入ったら、AC コンセントからプラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、火災、感電の原因となります。

煙が出たり、異臭がしたら使用を中止し、AC コンセントからプラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、火災、感電の原因となります。

濡れた手で本商品を扱わないでください。
電源が接続された状態で、本商品の操作や接続作業を行うと感電の原因となります。

本商品は一般事務、家庭での使用を目的とした商品です。
本商品は、住宅設備・医療機器・原子力設備や機器・航空宇宙機器・輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器および極めて高い信頼性を要求される設備や機器としての使用、またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これらの設備や機器、制御システムなどに本商品は使用しないでください。本商品の故障により社会的な損害や二次的な被害が発生するおそれがあります。

⚠ 注意

本商品を多段積みで使用したり、通風孔をふさいだりしないでください。
内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

本商品の前後左右、および上部には十分なスペースを確保してください。
換気が悪くなると内部温度が上昇し火災や故障の原因となります。また、商品に使用しているアルミ電解コンデンサは、高い温度状態で使用し続けると早期に寿命が尽きることがあります。寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙、火災の原因となることがあります。

⚠ 注意

禁　止

本商品を次のような場所で使用や保管はしないでください。

- 直射日光のあたる場所
- 暖房器具の近くなどの高温になる場所
- 急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
- 湿気の多い場所や水などの液体がかかる場所
- 振動の激しい場所
- ほこりの多い場所や、じゅうたん等の保温性、保湿性の高い場所
- 腐食性ガスの発生する場所
- 台所、浴室、洗面所などの水気や湿気が多い場所
- ユニットバスや天井裏など高温・多湿で風通しの悪い場所
- 壁の中などお手入れが不可能な場所
- 強い磁気や電磁波が発生する装置が近くにある場所

浴室禁止

水濡禁止

強制指示

事故防止のため、お手入れ可能な場所に設置してください。

本商品 (AC アダプタ含む) にほこりなどが付着していると発煙や火災の原因となる場合があります。ほこりなどが付着している場合は、電源を切った状態にしてから乾いた布でよく拭き取ってください。

禁　止

雷のときは本商品や接続されているケーブル類に触らないでください。

落雷による感電の原因となります。

プラグを抜く

本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。

故障の原因となることがあります。

無線商品をご利用の際のご注意

■電波に関するご注意

本商品を下記のような状況でご使用になることはおやめください。また、設置の前に必ず **P.2**「安全にお使いいただくためにお読みください」をお読みください。

- 心臓ペースメーカの近くで本商品をご使用にならないでください。心臓ペースメーカに電磁妨害をおよぼし、生命の危険があります。
- 医療機器の近くで本商品をご使用にならないでください。医療機器に電磁妨害をおよぼし、生命の危険があります。
- 電子レンジの近くで本商品をご使用にならないでください。電子レンジによって、本商品の無線通信への電磁妨害が発生します。

この機器の商品仕様に記載されている使用周波数帯（2.4GHz 帯）では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

底面の次の記載は、この無線機器が 2.4GHz 帯を使用し、変調方式として DS-SS と OFDM 変調方式を採用、想定される干渉距離は 40m であることを表します。また、周波数変更の可否として、全帯域を使用し、かつ「構内局」あるいは「特小局」、「アマチュア局」帯域の回避が可能です。

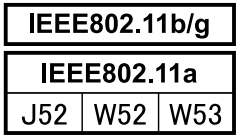
2.4　：2.4GHz 帯を使用する無線設備を表します。
DS/OF：DS-SS 方式および OFDM 方式を表します。
4　：想定される干渉距離が 40m 以下を表します。
■■■：全帯域を使用し、かつ「構内局」あるいは「特小局」、「アマチュア局」帯域の回避が可能なことを表します。

1　この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、アマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2　万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、電波の発射を停止したうえ、本書に記載されている連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置（例：パーティションの設置など）についてご相談ください。

3　その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、コレガサポートセンタへ問い合わせください。

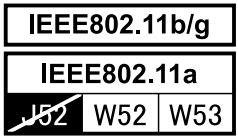
本商品は、5GHz 帯の電波を使用しております。5.2GHz、5.3GHz 帯の電波を屋外で使用することは電波法により禁止されています。
本商品のクライアント（子機）モードで使用する IEEE802.11a のチャンネルは 34、38、42、46ch（J52）と 36、40、44、48ch（W52）と52、56、60、64ch（W53）です。アクセスポイント（親機）モードで使用するチャンネルは W52 と W53 です。アクセスポイントモードの場合、J52 を使用するクライアントと通信することはできません。

・クライアントモード



J52（5.2GHz 帯　34、38、42、46ch）が利用できます。
W52（5.2GHz 帯　36、40、44、48ch）が利用できます。
W53（5.3GHz 帯　52、56、60、64ch）が利用できます。

・アクセスポイントモード



W52（5.2GHz 帯　36、40、44、48ch）が利用できます。
W53（5.3GHz 帯　52、56、60、64ch）が利用できます。

W53 を使用する場合は、法令により次のような制限があります。
・各チャンネルの通信開始前に、1 分間レーダー波の検出を行います。その間は通信することはできません。
・通信中にレーダー波を検出した場合、自動的にチャンネルを変更します。その間は通信が中断されることがあります。

■セキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに電波を利用してパソコンなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲内であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、次のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、
・ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報
・メールの内容
などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される

悪意ある第三者が無断で個人や会社内のネットワークへ接続し、
・個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
・傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
・コンピュータウィルスなどを流し、データやシステムを破壊する（破壊）
などの行為をされてしまう可能性があります。本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 商品のセキュリティに関する設定を行って商品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分に理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、商品を使用することをお勧めします。

はじめに

このたびは、「CG-WLCVRAGM」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
本書は本商品を正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただけるように、大切に保管してください。
また、本商品に関する最新情報（ソフトウェアのバージョンアップ情報など）は、弊社のホームページでお知らせしておりますのでご覧ください。

http://corega.jp/

マニュアルの種類と使い方

本商品には次のマニュアルがあります。本商品をお使いになる際にはそれぞれのマニュアルをご覧ください。

○はじめにお読みください

本商品の概要を説明しています。

○取扱説明書（本書）

安全にお使いいただくためのご注意、本商品を使い始めるまでのセットアップ作業について説明しています。また、「Q&A」では代表的なトラブルとその対処方法を説明しています。

本書の読み方

■記号について

本書で使用している記号や表記には、次のような意味があります。

	操作中に気をつけていただきたい内容です。 必ずお読みください。		**補足事項や参考となる情報を説明しています。**

■表記について

本商品	CG-WLCVRAGM のことです。
「 」−「 」−「 」	「 」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。
[ ]	[ ] で囲んである文字は、画面上のボタンを表します。 例：OK → [OK]
Windows Vista	Microsoft® Windows Vista™ Home Basic、 Microsoft® Windows Vista™ Home Premium、 Microsoft® Windows Vista™ Business および Microsoft® Windows Vista™ Ultimate
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system

※本書では、複数のOS を「Windows Vista/XP/2000」のように併記する場合があります。

■イラスト／画面について

本文中に記載のイラストや画面は、実際と多少異なることがあります。

本書の構成

本書は本商品についての情報や、設置・接続・設定方法などついて説明しています。
本書の構成は次のとおりです。

■第１章　お使いになる前にお読みください

本商品の特長、各部の名称と働きなどについて説明します。

〈クライアントモード編〉

■第２章　本商品の設置と設定

本商品の設定の手順について説明します。

■第３章　設定画面の詳細説明

本商品の設定画面で設定できる機能について説明します。

〈アクセスポイントモード編〉

■第４章　本商品の設置と設定

本商品の設定の手順について説明します。

■第５章　設定画面の詳細説明

本商品の設定画面で設定できる機能について説明します。

■第６章　トラブル解決と Q&A

トラブルの対処法やよくある質問について説明します。

■付録

本商品の仕様、保証や修理のご案内などを記載しています。

同梱品一覧

本商品をご使用になる前に、次のものが同梱されていることをご確認ください。万が一、欠品・不良などがございましたら、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

- □ CG-WLCVRAGM　本体
- □ AC アダプタ
- □ 壁掛け用ネジセット（アンカ× 2、ネジ× 2）
- □ LAN ケーブル
- □ 電波干渉注意ラベル
- □ はじめにお読みください
- □ 取扱説明書（本書）
- □ 製品保証書

目次

安全にお使いいただくためにお読みください 2
無線商品をご利用の際のご注意 5
はじめに 8
マニュアルの種類と使い方 8
本書の読み方 9
本書の構成 10
同梱品一覧 11
目次 13

第 1 章
お使いになる前にお読みください 17

1.1 本商品の特長 18
1.2 ネットワーク構成例 19
1.2.1 クライアントモード 19
1.2.2 アクセスポイントモード 20
1.3 各部の名称と機能 21
1.3.1 前面 21
1.3.2 背面 23
1.3.3 左側面 24
1.3.4 底面 25

第 2 章
本商品の設置と設定 27

2.1 本商品の確認 28
2.1.1 動作環境 28
2.1.2 動作モードの設定 29
2.2 本商品の設置 30
2.2.1 設置する前に 30
2.2.2 設置方法 30
2.2.3 ネットワーク機器を接続する 31
2.2.4 電源を入れる／電源を切る 32
2.3 本商品の設定方法 33
2.4 WPS ボタンで接続する 34
2.4.1 ネットワーク機器を接続する 35
2.4.2 WPS で無線 LAN を設定する 35
2.4.3 ネットワークに接続できることを確認する 37
2.4.4 ネットワークに接続できない場合 38

2.5 簡単設定で接続する 39
2.5.1 アクセスポイントの設定を確認する 40
2.5.2 設定用パソコンを接続する 40
2.5.3 簡単設定で無線 LAN を設定する 41
2.5.4 ネットワークに接続できることを確認する 46

第 3 章
設定画面の詳細説明 47

3.1 設定画面を表示する 48
3.1.1 設定用パソコンを接続する 48
3.1.2 設定画面を表示する 48
3.2 設定画面の全体構成 50
3.3 モード 52
3.4 簡単設定 53
3.5 詳細設定 54
3.5.1 本体 IP 55
3.5.2 IPv6 ブリッジ 56
3.5.3 無線クライアント設定 57
3.6 管理 61
3.7 ステータス 63

第 4 章
本商品の設置と設定 65

4.1 本商品の確認 66
4.1.1 動作環境 66
4.1.2 動作モードの設定 67
4.2 本商品の設置 68
4.2.1 設置する前に 68
4.2.2 設置方法 68
4.2.3 ネットワーク機器を接続する 69
4.2.4 電源を入れる／電源を切る 70
4.3 本商品の設定方法 71
4.4 WPS ボタンで接続する 72
4.5 設定ユーティリティで接続する 74
4.6 Window Vista で接続する 77
4.7 Windows XP で接続する 80
4.8 手動で接続する 84

第５章
設定画面の詳細説明 85

5.1 設定画面の説明 86
5.1.1 設定用パソコンを接続する 86
5.1.2 設定画面を表示する 86
5.2 設定画面の全体構成 88
5.3 モード 90
5.4 詳細設定 91
5.4.1 本体 IP 92
5.4.2 無線アクセスポイント設定 93
5.5 管理 103
5.6 ステータス 105

第６章
トラブル解決と Q&A 107

6.1 トラブル対処の方法 108
6.2 トラブルシューティング 109
6.2.1 電源が入らない 109
6.2.2 設定画面が表示されない 110
6.2.3 無線で接続できない 113
6.2.4 LAN ポートに接続した機器で接続できない 113
6.2.5 4th MEDIA や OCN シアターが見られない 114
6.2.6 ユーザ名（管理者ログイン名）、パスワードを忘れた 114
6.3 よくあるご質問 115
6.3.1 無線通信の効率を上げたい 115
6.3.2 最新のファームウェアを入手して更新したい 116
6.3.3 設定を保存したい／元に戻したい 122
6.3.4 再起動したい 126
6.3.5 工場出荷時の状態に戻したい 128
6.3.6 ユーザ名（管理者ログイン名）、パスワードを変更したい 130
6.3.7 パソコンの IP アドレスを調べたい 131
6.3.8 パソコンの IP アドレスを設定したい 132

付録 139

壁掛け用ネジセットを取り付ける 140
仕様一覧 142
工場出荷時設定 144
保証と修理について 145
おことわり 146

第 1 章
お使いになる前にお読みください

この章では、本商品の特長、各部の名称と働きなどについて説明します。

1.1　本商品の特長 18
1.2　ネットワーク構成例 19
1.2.1　クライアントモード 19
1.2.2　アクセスポイントモード 20
1.3　各部の名称と機能 21
1.3.1　前面 21
1.3.2　背面 23
1.3.3　左側面 24
1.3.4　底面 25

1.1　本商品の特長

本商品はIEEE802.11a/b/gの３つの無線LAN規格に対応したイーサネットコンバータです。100BASE-TX/10BASE-T に対応した5 ポートのスイッチングハブを搭載するため、LAN ポートを搭載した複数台のネットワーク機器（デジタル家電など）をまとめて無線 LAN で接続することができます。また、切替スイッチで切り替えることで、アクセスポイント（親機）として使用することもできます。

○IEEE802.11a/b/g に対応

普及している IEEE802.11b/g のほか、電波干渉に強い IEEE802.11a に対応しています。親機の無線規格に合わせて自動的に切り替わります。

○高速無線通信技術「MISO」に対応

2 本のアンテナの受信を合成して通信する MISO（Multiple Input/Single Output）に対応しています。

○WEP や WPA/WPA2-PSK に対応

無線 LAN のセキュリティは、普及している WEP（64/128bit）のほか、高セキュリティの WPA/WPA2-PSK に対応しています。

○WPS のプッシュボタンを搭載

WPS（Wi-Fi Protected Setup）のプッシュボタンによる接続に対応します。WPSボタンを押すだけで簡単にWPA2-PSKのセキュリティ設定で接続できます。

○5 ポートのスイッチングハブを搭載

複数台のネットワーク機器をまとめて無線 LAN に接続できます。

○壁掛けに対応

壁掛け用ネジセットを使用することで、お使いの環境に適した設置ができます。

○アクセスポイントモードに切り替え可能

クライアント（子機）モードとアクセスポイント（親機）モードを切り替えるモード切替スイッチを搭載しています。

- クライアント（子機）モード時は、IEEE802.11a（J52/W52/W53）/b/g に対応します。
- アクセスポイント（親機）モード時は、IEEE802.11a（W52/W53）または IEEE802.11b/g に対応します。a ⇔ b/g の切替タイプです。
- 初期設定はクライアント（子機）モードです。
- アドホックには対応しません。

1.2　ネットワーク構成例

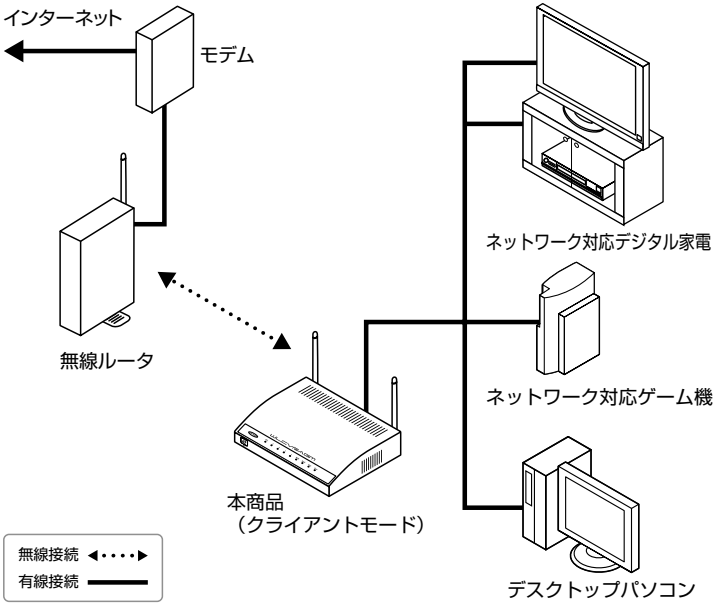
本商品を使ったネットワークの構成例を紹介します。
本商品は、モード切替スイッチでクライアント（子機）モードとアクセスポイント（親機）モードを切り替えることができます。

> メモ　初期設定はクライアント（子機）モードです。

☞ P.21「1.3 各部の名称と機能」

1.2.1　クライアントモード

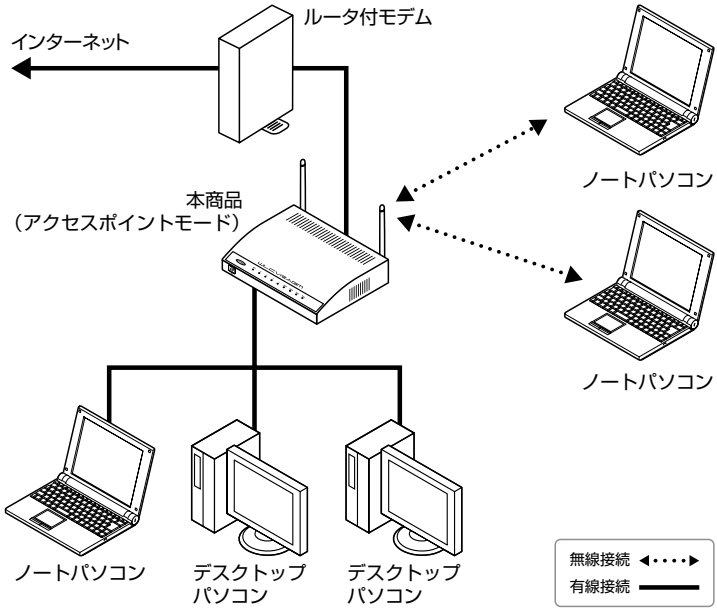
パソコンやデジタル家電などの LAN ポートを搭載した機器を無線 LAN に接続するための動作モードです。LAN ケーブルから解放されることで、自由なレイアウトで設置することができます。
また、スイッチングハブを 5 ポート搭載することで、複数台のネットワーク機器をまとめて無線 LAN で接続することができます。



本商品をクライアント（子機）モードでお使いになる場合は、**P.27**「**第 2 章** 本商品の設置と設定」をご覧ください。

1.2.2　アクセスポイントモード

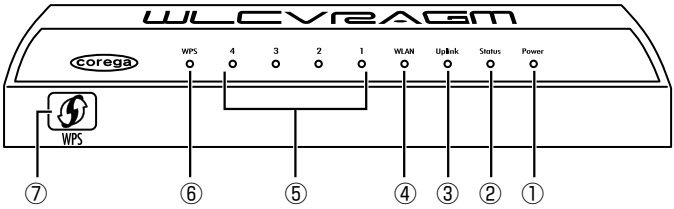
パソコンやデジタル家電などの無線LANを搭載した機器を接続するための動作モードです。
また、スイッチングハブを４ポートとアップリンクポートを搭載することで、複数台の有線ネットワーク機器もまとめて接続することができます。



本商品をアクセスポイント（親機）モードでお使いになる場合は、P.65「**第４章** 本商品の設置と設定」をご覧ください。

1.3　各部の名称と機能

1.3.1　前面



① Power LED（緑）

本商品の電源の状態を表示します。

点灯：電源が入っています。

消灯：電源が入っていません。

② Status LED（赤）

本商品の状態を表示します。

点灯：再起動しています。

点滅：ファームウェアをアップデートしています。

消灯：正常に動作しています。

③ Uplink LED（緑）

アップリンクポートの状態を表示します。

点灯：アップリンクポートのリンクが確立しています。

点滅：アップリンクポートが通信しています。

消灯：アップリンクポートのリンクが確立していません。

④ WLAN LED（緑／橙）

無線 LANの状態を表示します。

クライアントモードとアクセスポイントモードによって動作が異なります。

・クライアントモード時

点灯（橙）：802.11aの無線 LAN と接続しています。

点滅（橙）：802.11aの無線 LAN を検索しています。

点灯（緑）：802.11 b/g の無線 LANと接続しています。

点滅（緑）：802.11 b/g の無線 LANを検索しています。

消灯　　：無線LAN と接続していません。

・アクセスポイントモード時

点灯：無線通信ができる状態です。
点滅：無線通信しています。
消灯：無線通信ができない状態です。

⑤LAN LED（緑）

LAN ポート（1 ～4）の状態を表示します。
点灯：LAN ポートのリンクが確立しています。
消灯：LAN ポートが通信しています。
点滅：LAN ポートのリンクが確立していません。

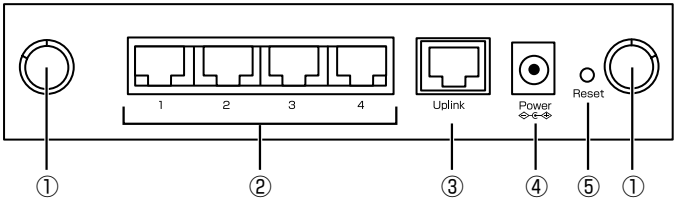
⑥WPS LED（緑）

WPS の設定状態を表示します。
☞ P.34「2.4 WPS ボタンで接続する」
☞ P.72「4.4 WPS ボタンで接続する」

⑦WPS ボタン

WPS で無線 LAN セキュリティを設定するためのボタンです。
☞ P.34「2.4 WPS ボタンで接続する」
☞ P.72「4.4 WPS ボタンで接続する」

1.3.2　背面



①アンテナ

電波の送受信部です。

② LAN ポート

パソコンやハブを接続するためのポートです。

③アップリンクポート

・クライアントモード時

LAN ポートとしてお使いになれます。

・アクセスポイントモード時

モデム、またはルータなど既存のネットワークと接続するためのポートです。

④ DC ジャック

付属の AC アダプタをつなげるためのコネクトです。

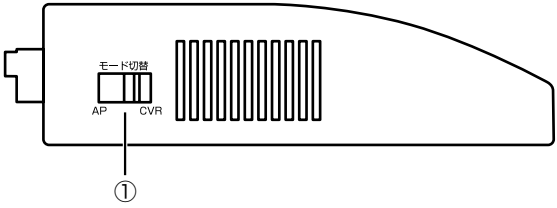
> **注意**
> **・必ず本商品に同梱の専用 AC アダプタをお使いください。同梱の AC アダプタ以外は、本商品に接続しないでください。**
> **・本商品に同梱の専用 AC アダプタは、本商品以外に接続しないでください。**

⑤ Reset ボタン

本商品を工場出荷時の状態に戻すためのボタンです。

☞ P.128「6.3.5 工場出荷時の状態に戻したい」

1.3.3 左側面



①モード切替スイッチ

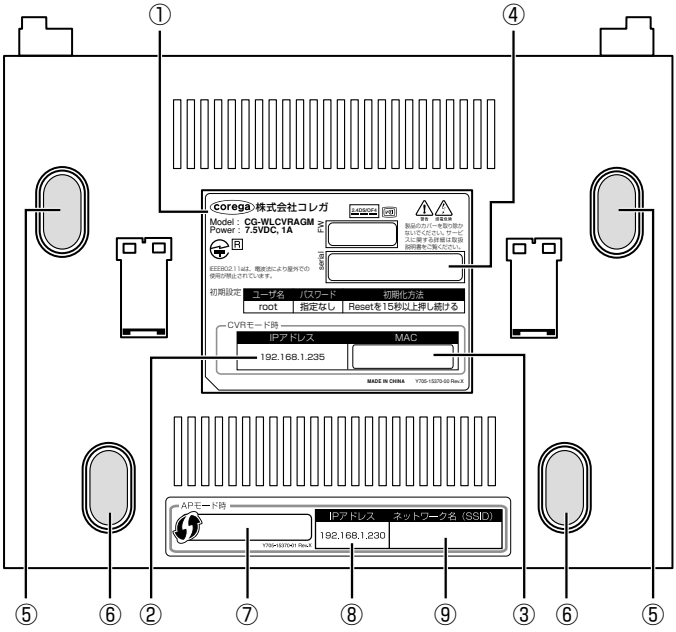
クライアント（子機）モードとアクセスポイント（親機）モードを切り替えます。それぞれの動作状態は次のとおりです。

切替スイッチ	「CVR」	「AP」
動作モード	クライアント（子機）	アクセスポイント（親機）
IP アドレス	192.168.1.235	192.168.1.230

メモ　初期設定はクライアント（子機）モードです。

☞ P.29「2.1.2 動作モードの設定」
☞ P.67「4.1.2 動作モードの設定」

1.3.4　底面



①製品ラベル

商品名や本商品の各情報が記載されています。

②クライアントモード時 IP アドレス

クライアント（子機）モード時の IP アドレスが記載されています。

③ MAC アドレスラベル

本商品の MAC アドレスが記載されています。

④シリアル番号ラベル

本商品のシリアル番号とリビジョンが記載されています。
シリアル番号とリビジョンは、コレガサポートセンタへお問い合わせの際に必要となります。

⑤ゴム足／壁掛け用ネジセット取り付け位置

壁掛け用ネジセットを取り付ける位置です。ゴム足を取り外して使用します。

☞ P.140「付録 壁掛け用ネジセットを取り付ける」

⑥ゴム足

本商品を横置きする場合に使用します。

⑦初期 PIN コード

アクセスポイント（親機）モード時の PIN コード（ネットワークキー・WPA 共有キー）が記載されています。

⑧アクセスポイントモード時 IP アドレス

アクセスポイント(親機)モード時のIPアドレスが記載されています。

⑨ネットワーク名（SSID）

アクセスポイント（親機）モード時のネットワーク名（SSID）が記載されています。

クライアントモード

第２章
本商品の設置と設定

この章ではクライアント（子機）モード時の本商品の設定手順について説明します。

2.1　本商品の確認 28
2.1.1　動作環境 28
2.1.2　動作モードの設定 29
2.2　本商品の設置 30
2.2.1　設置する前に 30
2.2.2　設置方法 30
2.2.3　ネットワーク機器を接続する 31
2.2.4　電源を入れる／電源を切る 32
2.3　本商品の設定方法 33
2.4　WPS ボタンで接続する 34
2.4.1　ネットワーク機器を接続する 35
2.4.2　WPS で無線 LAN を設定する 35
2.4.3　ネットワークに接続できることを確認する 37
2.4.4　ネットワークに接続できない場合 38
2.5　簡単設定で接続する 39
2.5.1　アクセスポイントの設定を確認する 40
2.5.2　設定用パソコンを接続する 40
2.5.3　簡単設定で無線 LAN を設定する 41
2.5.4　ネットワークに接続できることを確認する 46

2.1 本商品の確認

2.1.1 動作環境

本商品をクライアント（子機）モードでお使いになる場合の動作環境は次のとおりです。

■対応する無線 LAN 機器

IEEE802.11a（J52/W52/W53）/b/g いずれかの規格に対応している無線 LAN アクセスポイント・無線 LAN ルータ・無線 LAN 機器内蔵モデムなどの無線 LAN 親機

■対応する機器

LAN ポート（RJ-45）を装備しているネットワーク機器（パソコンやデジタル家電など）

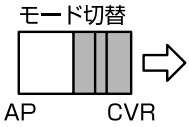
■設定の変更に必要な機器

本商品の設定を変更する場合は、次の条件を満たす設定用のパソコンが必要になります。

- LAN ポート（RJ-45）を装備している
- TCP/IP が組み込まれている
- Windows Vista/XP/2000、Mac OSX（10.4 以降）のいずれかの OS が動作している
- Internet Explorer（Ver.6 以降）、Safari（Ver.1.2 以降）がインストールをされている

2.1.2　動作モードの設定

本商品をクライアント（子機）モードでお使いになる場合は、モード切替スイッチを次のとおりに設定します。設定が合っている場合は、変更する必要はありません。



注意　**モード切替スイッチの操作は、必ず本商品の電源を切った状態で行ってください。**

メモ　初期設定はクライアント（子機）モードです。

クライアント（子機）モード時の動作状態は次のとおりです。

切替スイッチ	「CVR」
動作モード	クライアント（子機）
IP アドレス	192.168.1.235

動作モードの設定が完了したら、**P.30**「2.2　本商品の設置」に進みます。

2.2 本商品の設置

本商品をクライアント（子機）モードで使用する場合の設置方法を説明します。

2.2.1 設置する前に

本商品を設置する前に、**P.2**「安全にお使いいただくためにお読みください」を必ずお読みください。
設置については、次の点にご注意ください。

- 電波を妨げないような場所に設置してください。
- AC アダプタのケーブルやLAN ケーブルに無理な力が加わるような配置は避けてください。
- テレビ、ラジオ、無線機などのそばに設置しないでください。
- 十分な換気ができるように、本商品の上面と側面にある通気口をふさがないように設置してください。
- 傾いた場所や不安定な場所に設置しないでください。
- 本商品の上に物を置かないでください。
- 直射日光のあたる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。
- 本商品は屋外ではご使用になれません。
- コネクタの端子に触らないでください。静電気を帯びた手（体）でコネクタの端子に触れると静電気の放電により故障の原因になります。

2.2.2 設置方法

本商品にはゴム足が取り付けられていますので、そのまま机の上などの水平な場所に設置できます。
壁掛け用ネジセットを使用して壁面に取り付ける場合は、次の項目をご覧ください。
☞ P.140「**付録** 壁掛け用ネジセットを取り付ける」

2.2.3　ネットワーク機器を接続する

本商品とパソコンやネットワーク機器の接続に使用できるLANケーブルの種類と接続方法を説明します。

■LAN ケーブルの種類

本商品に使用できる LAN ケーブルは次のとおりです。

・LAN ケーブルのカテゴリ

対応する通信規格（通信速度）によって、次のカテゴリのケーブルを使用できます。

通信規格	LAN ケーブル（UTP ケーブル）の種類
100BASE-TX	カテゴリ５以上
10BASE-T	カテゴリ３以上

・LAN ケーブルの結線

本商品の LAN ポート（1 ～ 4）および Uplink ポートは、Auto MDI/MDI-X に対応しています。ストレートケーブルまたはクロスケーブルのどちらの結線でも接続できます。

・LAN ケーブルの長さ

本商品とネットワーク機器を接続するケーブルの長さは 100m以内にしてください。

■LAN ケーブルの接続方法

LAN ケーブルの接続手順は次のとおりです。

***1*　LAN ケーブルと本商品を接続します。**

LAN ケーブルを本商品の LAN ポート（1 ～ 4）または Uplink ポートに接続します。ケーブルはカチッと音がするまでしっかりと差し込みます。

***2*　LAN ケーブルをネットワーク機器に接続します。**

本商品に接続した LAN ケーブルをパソコンやネットワーク機器に接続します。

2.2.4 電源を入れる／電源を切る

本商品には電源スイッチがありません。AC アダプタを電源コンセントに接続すると本商品の電源が入ります。

> **注意**
> - **必ず本商品に同梱している AC アダプタをお使いください。同梱の AC アダプタ以外は、本商品に接続しないでください。**
> - **本商品に同梱している AC アダプタは、本商品以外に接続しないでください。**

■電源を入れる

次の手順で本商品の電源を入れます。

> **注意**
> **本商品の AC アダプタは、必ず AC100V の電源コンセントに接続してください。規格外の電源コンセントに接続すると、発熱による発火や、感電のおそれがあります。**

1 AC アダプタを接続します。

AC アダプタの DC プラグを、本体背面の DC ジャックに接続します。AC アダプタを AC100V の電源コンセントに接続します。

2 Power LED が点灯します。

電源が入ると、Power LED が点灯します。本商品が起動する間に Status LED が点灯→消灯します。起動が完了するまで 1 分程度お待ちください。

■電源を切る

本商品の電源を切るには、ACアダプタを電源コンセントから抜きます。

> **注意**
> - **AC アダプタを電源コンセントに接続したまま、DC プラグを抜かないでください。感電するおそれがあります。**
> - **電源を切った後に再び電源を入れる場合は、電源を切ってから 30 秒以上経過してから接続してください。連続で電源を切ったり入れたりすると、故障の原因となります。**

2.3　本商品の設定方法

本商品は、WPS ボタンを使った WPS（Wi-Fi Protected Setup）による設定方法と、Web ブラウザを使った Web 設定画面での設定方法の 2 とおりの設定方法を用意しています。それぞれ次の特長があります。

接続したいアクセスポイント（親機）が WPS に対応している場合は、WPS で設定することをお勧めします。

■ WPS（Wi-Fi Protected Setup）

・WPS ボタンを押すだけで簡単に本商品をアクセスポイント(親機)に接続できます
・WPA/WPA2-PSK による高いセキュリティが設定できます
・パソコンがなくても設定できます

アクセスポイント（親機）が WPS に対応している必要があります。

アクセスポイント（親機）が WPS に対応している場合は、WPS での設定をお勧めします。

☞ P.34「2.4 WPS ボタンで接続する」

■ Web 設定画面

・ウィザード形式でアクセスポイント（親機）を検索できます
・手動でアクセスポイントに接続できます
・WPS に対応していないアクセスポイント（親機）に接続できます

設定にパソコンが必要です。

アクセスポイント（親機）が WPS に対応していない場合や、よく分からない場合は、設定用パソコンを用意して、Web 設定画面で設定します。詳しい手順は次の項目をご覧ください。

☞ P.39「2.5 簡単設定で接続する」

2.4 WPS ボタンで接続する

WPS ボタンで本商品を設定する場合は、次の手順で設定します。

STEP1	**ネットワーク機器を接続する** ネットワーク機器を本商品に LAN ケーブルで接続します。 ☞ **P.35**「2.4.1 ネットワーク機器を接続する」

↓

STEP2	**WPS ボタンで設定する** WPS（Wi-Fi Protected Setup）で無線 LAN を設定します。 ☞ **P.35**「2.4.2 WPS で無線 LAN を設定する」

↓

STEP3	**ネットワークに接続できることを確認する** ネットワーク機器がインターネットなどのネットワークに接続できることを確認します。 ☞ **P.37**「2.4.3 ネットワークに接続できることを確認する」

2.4.1　ネットワーク機器を接続する

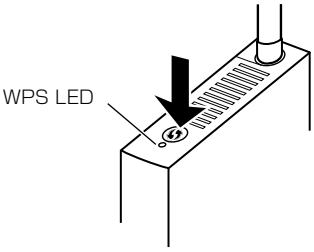
ネットワーク機器を本商品の LAN ポート（1 ～4）または Uplink ポートに LAN ケーブルで接続して、本商品の電源を入れます。

2.4.2　WPS で無線 LAN を設定する

次の手順で WPS の設定します。ここでは、アクセスポイント（親機）の例として CG-WLBARGSX を使います。

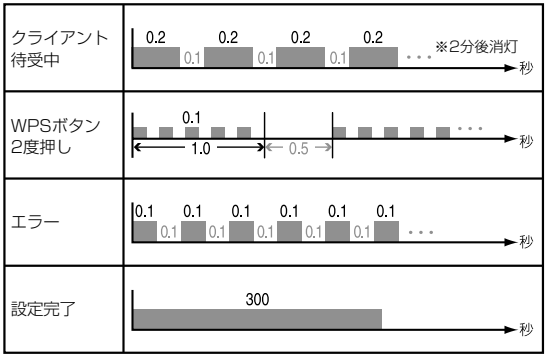
1　アクセスポイントの WPS ボタンを 2 秒以上押します。

アクセスポイント（親機）の WPS ボタンを 2 秒以上押します。WPS LED が点滅することを確認してから離します。



メモ

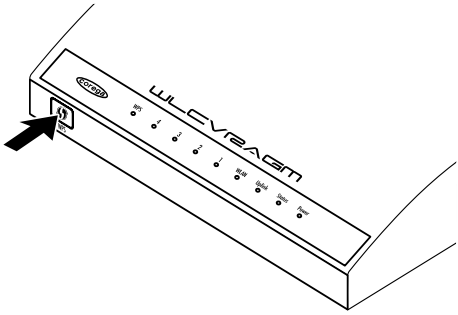
WPS LED の動作は次の表を参考にしてください（数字はおよその秒数を表します）。



（凡例）■：点灯　␣：消灯

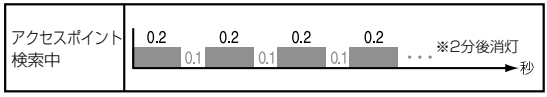
2 本商品の WPS ボタンを 2 秒以上押します。

本商品前面の WPS ボタンを 2 秒以上押します。WPS LED が点滅することを確認してから離します。



メモ

WPS LED の動作は次の表を参考にしてください（数字はおよその秒数を表します）。



（凡例）■：点灯 ␣：消灯

3 アクセスポイントの検索が始まります。

アクセスポイント（親機）のWPS LED が待ち受け中になり、本商品の WPS LED がアクセスポイント検索中になります。

注意

- **信号を受信しやすいように、アクセスポイント（親機）と本商品を近づけてください。**
- **検索は約 2 分間行いますが、環境によっては検索に時間がかかる場合があります。**

4　設定が完了します。

LED の表で動作を確認して、アクセスポイント（親機）の設定完了の動作になり、クライアント（子機）モードの本商品の WPS LED が消灯して再起動すると、WPS での設定が完了します。

> **注意**　**LED の表で、設定完了の動作にならない場合は、WPS LED が消灯したあとに、はじめからやり直してください。**

> **メモ**　本商品の Status LED が点灯→消灯して本商品は再起動します。再起動には約 2 分程度時間がかかります。

2.4.3　ネットワークに接続できることを確認する

ネットワーク機器の電源を入れて、ネットワークに接続できることを確認します。

> **メモ**　ネットワークに接続できない場合は、を P.38「2.4.4 ネットワークに接続できない場合」確認してください。

以上で、WPS ボタンでの無線 LAN の設定は完了です。

2.4.4 ネットワークに接続できない場合

ネットワークに接続できない場合は、次の内容を確認してください。

1 設定用パソコンを用意します。

本商品の設定を確認するために設定用パソコンを用意します。

☞ P.48「3.1.1 設定用パソコンを接続する」

2 設定画面を表示します。

設定用パソコンで本商品の設定画面を表示します。

☞ P.48「3.1.2 設定画面を表示する」

3 状態を確認します。

「ステータス」で「接続状態」と「認証状態」を確認します。

☞ P.63「3.7 ステータス」

「接続状態」が「接続済み」、「認証状態」が「認証成功」になっている場合は、本商品はアクセスポイント（親機）と無線で通信できています。無線 LAN 以外で問題が起きている可能性がありますので、本商品に接続したネットワーク機器を本商品から取り外して、有線 LAN で上位ネットワークに接続して通信ができるか確認してください。

「接続状態」が「接続済み」、「認証状態」が「認証成功」になっていない場合は、本商品はアクセスポイント（親機）と無線で通信できていません。本商品とアクセスポイント（親機）を近づけて再度 WPS ボタンで接続するか、設定画面の簡単設定から接続してください。

☞ P.34「2.4 WPS ボタンで接続する」
☞ P.39「2.5 簡単設定で接続する」

2.5　簡単設定で接続する

本商品の Web 設定画面の簡単設定で設定する場合は、次の手順で設定します。

STEP1	**アクセスポイントの設定を確認する** 接続したいアクセスポイント（親機）の無線設定を確認します。 ☞ P.40「2.5.1　アクセスポイントの設定を確認する」

↓

STEP2	**設定パソコンを接続する** 設定パソコンを用意して、本商品に接続します。 ☞ P.40「2.5.2　設定用パソコンを接続する」

↓

STEP3	**簡単設定で設定する** Web 設定画面の簡単設定で無線 LAN を設定します。画面に従って、「アクセスポイントを検索する」または「手動で接続する」のどちらかを選択します。 ☞ P.41「2.5.3　簡単設定で無線 LAN を設定する」

↓

STEP4	**ネットワークに接続できることを確認する** ネットワーク機器を本商品に接続して、ネットワークに接続できることを確認します。 ☞ P.46「2.5.4　ネットワークに接続できることを確認する」

2.5.1 アクセスポイントの設定を確認する

お使いのアクセスポイントの設定を確認します。あらかじめ次の項目を確認してください。メモに控えておくことをお勧めします。

- **ネットワーク名（SSID、ESSID）**
- **認証方式**
  Open System、Shared Key、WPA-PSK など。
- **暗号化**
  WEP、TKIP、AES など。
- **暗号キー**
  WEP キー、WPA 共有キーなど。

2.5.2 設定用パソコンを接続する

簡単設定で設定するために、次の手順で設定用パソコンを接続します。設定用パソコンに設定されていた内容は、あらかじめメモに控えておきます。

1 設定用パソコンを準備します。

設定用パソコンの IP アドレスを、次のとおりに設定します。

IP アドレス	192.168.1.123 ※192.168.1.235 を除く、192.168.1.1 ～ 192.168.1.254 の範囲で設定できますが、ここでは 192.168.1.123 を例に説明します。
サブネットマスク	255.255.255.0

☞ P.132「6.3.8 パソコンの IP アドレスを設定したい」
☞ P.110「6.2.2 設定画面が表示されない」

2 本商品に設定用パソコンを接続します。

設定用パソコンと本商品を、LAN ケーブルで接続します。

2.5.3　簡単設定で無線 LAN を設定する

> **注意**　あらかじめ、本商品のモードを切替スイッチが「CVR」になっていることを確認してください。

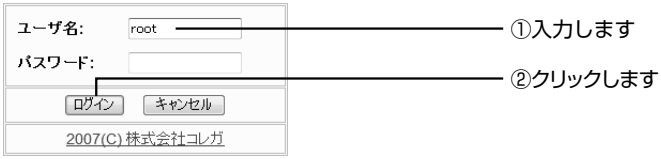
本商品の Web 設定画面を表示して、簡単設定で無線 LAN の設定を行います。

1　設定画面を表示します。

Web ブラウザを起動して、アドレスに「192.168.1.235」と入力して、設定画面を表示します。

2　設定画面にログインします。

ユーザ名に「root」と入力して［ログイン］をクリックします。

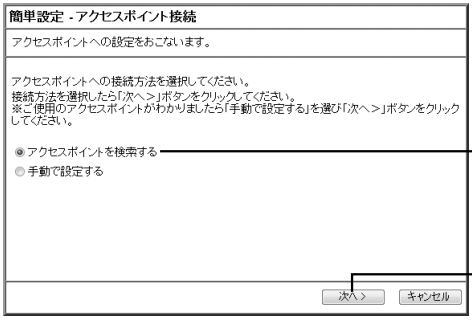


3　簡単設定を表示します。

「簡単設定」をクリックします。
「簡単設定・アクセスポイント接続」が表示されます。

4 「アクセスポイントを検索する」を選択します。

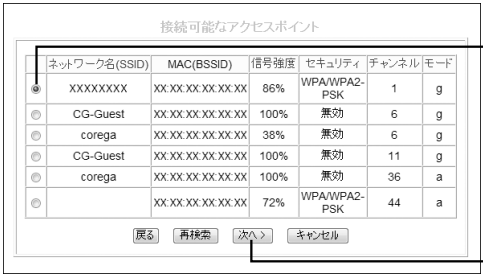
［次へ］をクリックします。



> 通常は「アクセスポイントを検索する」を選択して設定してください。
> アクセスポイントの情報がすべてわかる場合のみ、「手動で接続する」に進みます。
> P.45「手動で接続する」

5 アクセスポイントを選択します。

検索されたアクセスポイントの中から、接続したいアクセスポイントを選択して、［次へ］をクリックします。

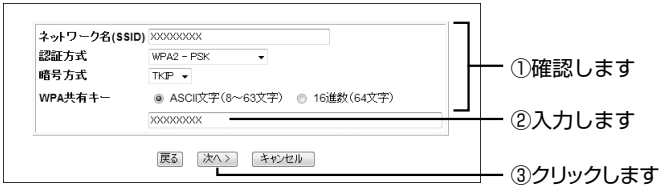


6　セキュリティを設定します。

ネットワーク名（SSID）や認証方式が設定されていることを確認します。

暗号化のキー（WPA 共有キーまたは WEP キー）に、アクセスポイントに設定している値を入力して、［次へ］をクリックします。

※ステルス AP が有効になっているアクセスポイントを選択した場合は、「ネットワーク名（SSID）」も入力する必要があります。



7　設定を確認します。

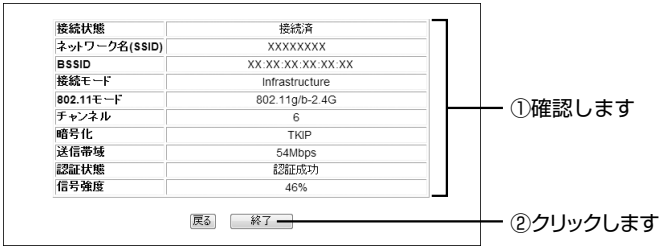
セキュリティの設定を確認して、［次へ］をクリックします。

8　再起動します。

再起動が完了するまで、２分程度お待ちください。

9 設定を完了します。

再起動後に本商品の状態が表示されます。［終了］をクリックすると設定が完了します。



10 ログアウトします。

［ログアウト］をクリックします。本商品からログアウトしたあと、ブラウザを終了します。

11 設定用パソコンの設定を元に戻します。

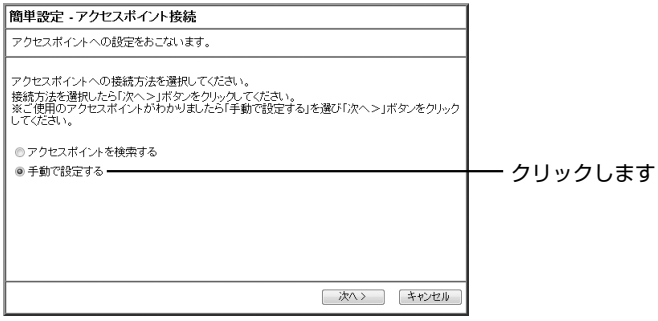
設定用パソコンの IP アドレスなどの設定を元に戻します。

このあとは**P.46**「ネットワークに接続できることを確認する」に進みます。

■手動で接続する

簡単設定で手動で設定する場合は、次の手順で設定します。

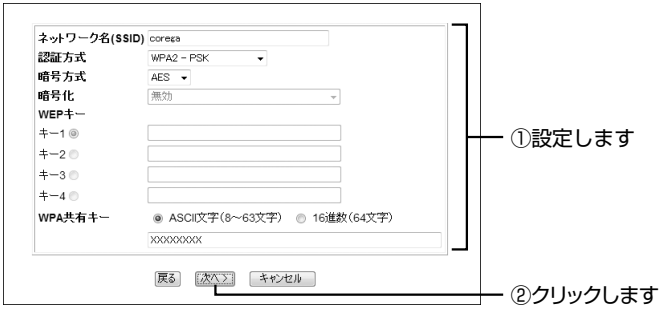
1　「手動で設定する」を選択します。



2　設定を入力します。

確認したアクセスポイントの設定を入力します。

☞ P.40「アクセスポイントの設定を確認する」



3　設定を確認します。

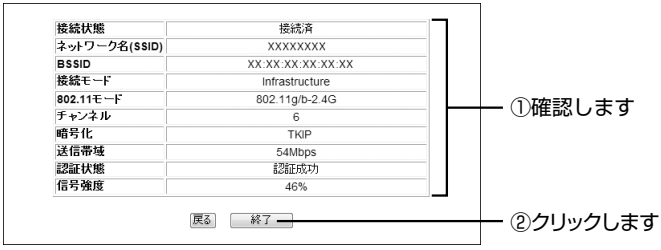
設定したセキュリティの設定を確認して、［次へ］をクリックします。

4 再起動します。

再起動が完了するまで、2 分程度お待ちください。

5 設定を完了します。

再起動後に本商品の状態が表示されます。[終了] をクリックすると設定が完了します。



6 ログアウトします。

[ログアウト] をクリックします。本商品からログアウトしたあと、ブラウザを終了します。

7 設定用パソコンの設定を元に戻します。

設定用パソコンの IP アドレスなどの設定を元に戻します。

このあとは**P.46**「ネットワークに接続できることを確認する」に進みます。

2.5.4 ネットワークに接続できることを確認する

ネットワーク機器の電源を入れて、ネットワークに接続できることを確認します。

以上で、簡単設定での無線 LAN の設定は完了です。

クライアントモード

第 3 章
設定画面の詳細説明

この章では、クライアント（子機）モード時の本商品の設定画面で設定できる機能について説明します。

3.1 設定画面を表示する 48
3.1.1 設定用パソコンを接続する 48
3.1.2 設定画面を表示する 48
3.2 設定画面の全体構成 50
3.3 モード 52
3.4 簡単設定 53
3.5 詳細設定 54
3.5.1 本体 IP 55
3.5.2 IPv6 ブリッジ 56
3.5.3 無線クライアント設定 57
3.6 管理 61
3.7 ステータス 63

3.1 設定画面を表示する

本章では、クライアントモード時の設定画面について説明します。本商品をお使いになって、「もっと使いこなしたい」、「設定の詳しい情報が知りたい」と思ったときにご覧ください。

3.1.1 設定用パソコンを接続する

設定画面を表示するために、次の手順で設定用パソコンを接続します。

1 設定用パソコンを準備します。

設定用パソコンの IP アドレスを、次のとおりに設定します。

IP アドレス	192.168.1.123 ※192.168.1.235 を除く、192.168.1.1 ～ 192.168.1.254 の範囲で設定できますが、ここでは 192.168.1.123 を例に説明します。
サブネットマスク	255.255.255.0

☞ P.132「6.3.8 パソコンの IP アドレスを設定したい」
☞ P.110「6.2.2 設定画面が表示されない」

2 本商品に設定用パソコンを接続します。

設定用パソコンと本商品を、LAN ケーブルで接続します。

3.1.2 設定画面を表示する

次の手順で本商品の設定画面を表示します。

> **注意** **あらかじめ、本商品のモードを切替スイッチが「CVR」になっていることを確認してください。**

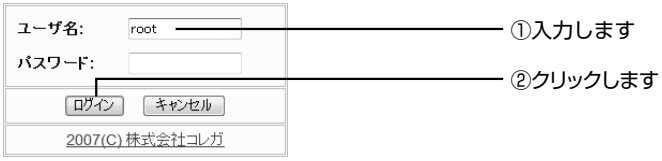
本商品の Web 設定画面を表示して、簡単設定で無線 LAN の設定を行います。

1 設定画面を表示します。

Web ブラウザを起動して、アドレスに「192.168.1.235」と入力して、設定画面を表示します。

2　設定画面にログインします。

ユーザ名に「root」と入力して［ログイン］をクリックします。



3　設定画面が表示されます。

各種設定の完了後、設定用パソコンの IP アドレスは元に戻してください。

3.2　設定画面の全体構成

本商品の設定画面のトップページです。左側のメニューで各種設定を行うほか、重要な情報を表示します。

①コレガロゴ

インターネット接続時にクリックすると、コレガホームページを表示します。

②本体モード

現在の動作モードを表示します。

［状態］をクリックすると、**P.63**「3.7 ステータス」を表示します。

③ネットワーク名（SSID）

現在のネットワーク名（SSID）を表示します。

［設定］をクリックすると、**P.57**「3.5.3 無線クライアント設定」を表示します。

④セキュリティ

現在のセキュリティ設定を表示します。

［設定］をクリックすると、**P.59**「■ 802.11a/b/g セキュリティ設定」を表示します。

⑤[ログアウト]

クリックすると設定画面からログアウトします。再度、設定画面を表示するには、ログアウト画面で［再ログイン］をクリックします。

⑥モード

クリックすると **P.52**「3.3 モード」を表示します。

本商品の動作モードを表示します。

⑦簡単設定

クリックすると **P.53**「3.4 簡単設定」を表示します。

アクセスポイントに接続する設定をウィザード形式で簡単に設定します。

⑧詳細設定

クリックすると **P.54**「3.5 詳細設定」を表示します。
アクセスポイントに接続する設定を手動で設定します。

⑨管理

クリックすると **P.61**「3.6 管理」を表示します。
本商品の管理者ログイン名やパスワードなどを設定できます。

⑩ステータス

クリックすると **P.63**「3.7 ステータス」を表示します。
本商品のステータスを表示します。

- 本章では例を使用して説明しています。実際にはお使いの環境にあった値を入力してください。
- 各画面にある「HELP」をクリックすると、設定項目の説明が表示されます。
- 各画面にある［設定］をクリックすると、現在の内容を本商品に設定します。
- 各画面にある［取消］をクリックすると、設定中の内容を取り消します。
- 各画面にある［戻る］をクリックすると、1 階層上の画面に戻ります。

3.3 モード

クライアント（子機）モード時の本商品の動作状態を表示します。

①本体モード

本商品の動作モードを表示します。

・クライアントモード

クライアント（子機）として動作しています

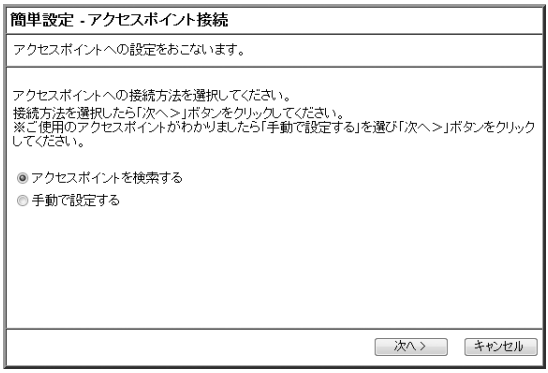
②無線クライアントモード

クライアント（子機）モードの場合は、つねに「11a/b/g 有効」です。

メモ クライアント（子機）モードの 802.11a は、J52/W52/W53 に対応しています。

3.4　簡単設定

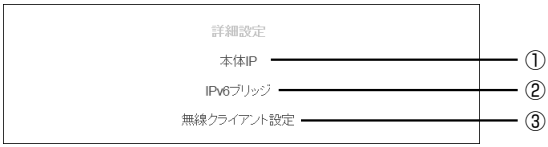
アクセスポイントに接続する設定をウィザード形式で簡単に設定します。
詳しくは、本書 **P.39**「2.5 簡単設定で接続する」をご覧ください。



☞ **P.39**「2.5 簡単設定で接続する」

3.5 詳細設定

クライアント（子機）モード時の本商品の詳細な項目を設定できます。



①本体 IP

クリックすると **P.55**「3.5.1 本体 IP」を表示します。
本商品の IP アドレスを設定します。

②IPv6 ブリッジ

クリックすると **P.56**「3.5.2 IPv6 ブリッジ」を表示します。
本商品の IPv6 ブリッジを設定します。

③無線クライアント設定

クリックすると **P.57**「3.5.3 無線クライアント設定」を表示します。
本商品の無線 LAN を設定します。

3.5.1　本体 IP

本商品の IP アドレスを設定できます。

① MAC アドレス

本商品の LAN 側の MAC（Media Control Access）アドレスが表示されます。

※ MAC アドレスは変更できません。

② IP アドレス

本商品の IP アドレスです。ネットワークに合わせて設定します。IP アドレスの値は「0」から「255」までの数字と「.（ピリオド）」で入力します（初期値：192.168.1.235）。

③サブネットマスク

本商品のサブネットマスクです。ネットワークに合わせて設定します。サブネットマスクの値は「0」から「255」までの数字と「.（ピリオド）」で入力します（初期値：255.255.255.0）。

④ゲートウェイ

本商品のデフォルトゲートウェイです。お使いのネットワークに合わせて設定します。デフォルトゲートウェイの値は「0」から「255」までの数字と「.（ピリオド）」で入力します（初期値：空欄）。

3.5.2 IPv6 ブリッジ

IPv6 ブリッジの有効 / 無効を選択できます。
IPv6 を使用する場合に設定します。

> メモ 複数台のネットワーク機器での IPv6 通信はお勧めしません。

① IPv6 ブリッジ

有効：IPv6 ブリッジが有効です。
無効：IPv6 ブリッジが無効です（初期値）。

3.5.3　無線クライアント設定

ネットワーク名（SSID）やセキュリティなどの項目を設定できます。

①無線クライアント機能

802.11a/b/g の状態を表示します。
クライアント（子機）モードでは、つねに「11a/b/g 有効」です。

② Wi-Fi Protected Setup

Wi-Fi Protected Setup を設定します。

③ 802.11a/b/g 設定

802.11a/b/g の通信設定を行います。

④ 802.11a/b/g セキュリティ設定

802.11a/b/g のセキュリティ設定を行います。

■ Wi-Fi Protected Setup

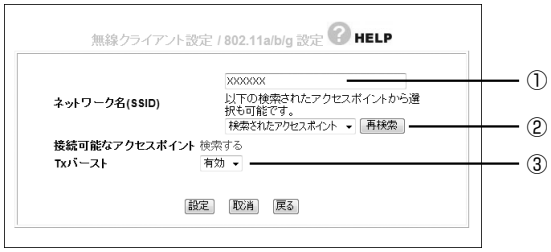
無線セキュリティを簡単に設定できる「Wi-Fi Protected Setup」の設定を表示します。Wi-Fi Protected Setup は対応機種のみ使用できます。通常は設定画面で設定を変更する必要はありません。

① Wi-Fi Protected Setup

WPS の有効／無効を設定します。
有効：WPS は有効です（初期値）。
無効：WPS は無効です。

■802.11a/b/g 設定

無線クライアントの設定を行います。
通常は簡単設定から設定してください。
☞ P.39「2.5 簡単設定で接続する」

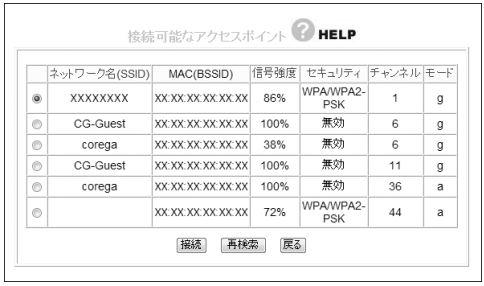


①ネットワーク名（SSID）

無線 LAN に接続する機器を識別するネットワークグループ名です。接続するすべての無線 LAN アダプタに同じ名前を設定します。32 文字以内の半角英数字または半角記号で入力してください。
また、「検索されたアクセスポイント」からネットワーク名（SSID）を選択することもできます（初期値：corega）。

②接続可能なアクセスポイント

接続可能なアクセスポイントを表示します。

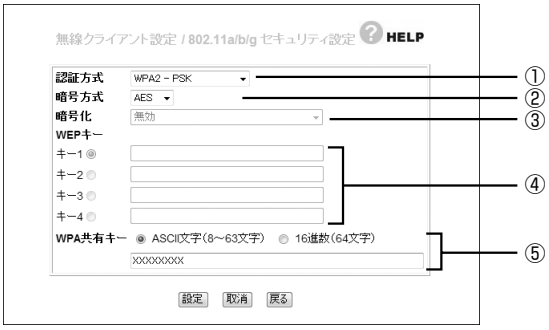


③Tx バースト

通信データを圧縮することによって通信速度を向上させることができます。ただし、Txバーストに対応した無線アクセスポイントが必要です。また、通信するデータによって圧縮率が異なります。
有効：Txバーストは有効です（初期値）。
無効：Txバーストは無効です。

■802.11a/b/g セキュリティ設定

無線 LAN のセキュリティを設定します。
通常は簡単設定から設定してください。
☞ P.39「2.5 簡単設定で接続する」



①認証方式

無線 LANの認証方式を設定します。

- **Open System**

  オープンシステム認証で接続します。②暗号方式は自動的に「無効」になります。

- **Open/Shared（Auto）**

  オープンシステム認証またはシェアードキー（共有キー）認証で接続します。②暗号方式は自動的に「WEP」になります。WEPの設定が必要です。

- **WPA-PSK**

  WPA-PSK（パーソナル）で接続します。事前共有キーを使用します。②暗号方式は、「TKIP」または「AES」のどちらかを設定します。

- **WPA2-PSK**

  WPA2-PSK（パーソナル）で接続します。事前共有キーを使用します。②暗号方式は、「TKIP」または「AES」のどちらかを設定します。

②暗号方式

無線 LANの暗号方式を設定します。

・**無効**

セキュリティを使用しません。①認証方式で「Open System」を設定したときのみ選択できます。

・**WEP**

WEP で暗号化します。①認証方式で「Open/Shared（Auto）」を設定したときに WEP で暗号化できます。

・**TKIP、AES**

AES または TKIP で暗号化します。①認証方式で「WPA-PSK」または「WPA2-PSK」を設定したときに、AES または TKIP で暗号化します。なお、①認証方式で「WPA-PSK」または「WPA2-PSK」を設定したときは、⑤ WPA 共有キーの設定が必要です。

③暗号化

①認証方式で「Open System」または「Open/Shared（Auto）」を設定したときに、WEP の暗号強度を次のどれかに設定します。

- 64Bit-16 進数（0-9/a-f）10 桁
- 128Bit-16 進数（0-9/a-f）26 桁
- 64Bit-ASCII（半角英数記号）5 文字
- 128Bit-ASCII（半角英数記号）13 文字

④ WEP キー

①認証方式で「Open System/Shared（Auto）」を設定したときに、③暗号化で設定した強度にしたがって、「キー 1」に WEP の暗号キーを設定します。暗号キーは「キー 1」から「キー 4」の 4 つを設定しておくことができますが、実際に使用する暗号キーは 1 つだけです。チェックを付けたキーが使用されます。

⑤ WPA 共有キー

① 認証方式で「WPA-PSK」または「WPA2-PSK」を設定したときに WPA 共有キーを設定します。共有キーは ASCII 文字または 16 進数のどちらかの入力方法を選択できますが、通常は ASCII 文字を使用してください。

・**ASCII 文字**

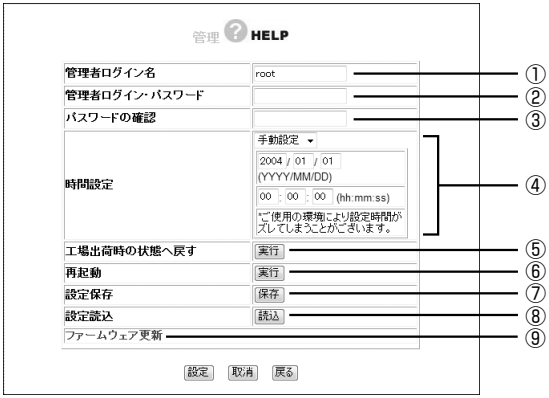
8文字以上63文字以内の半角英数字または半角記号で設定します。

・**16 進数**

64 文字以内の 16 進数（0-9 の半角数字、a-f の半角アルファベット）で設定します。

3.6　管理

ログイン名やパスワードなどを設定します。



①管理者ログイン名

設定画面のログイン名を変更します。設定変更後はこのログイン名で設定画面にログインします（初期値：root）。

②管理者ログイン・パスワード

設定画面のログイン・パスワードを設定します。空欄に設定した場合はパスワードを入力しなくても設定画面にログインできます（初期値：空欄）。

③パスワードの確認

確認のため②管理者ログイン・パスワードで設定したパスワードを入力します。

④時間設定

本商品の時間設定ができます。

- **自動設定**

  NTP サーバを検出して自動で時刻を設定します。

- **手動設定**

  手動で「年／月／日」の順に設定します（初期値：2004/1/1 00:00:00）。

> メモ　自動で時刻を合わせるには、「本体 IP」でゲートウェイを設定する必要があります。
> ☞ P.55「3.5.1　本体 IP」

⑤工場出荷時の状態へ戻す

［実行］をクリックすると本商品の設定を工場出荷時の初期設定に戻します。

※実行する前に設定内容を控えておくことをお勧めします。

☞ P.128「6.3.5 工場出荷時の状態に戻したい」

⑥再起動

［実行］をクリックすると、本商品を再起動します。

☞ P.126「6.3.4 再起動したい」

⑦設定保存

現在の設定内容をファイルに保存することができます。設定を保存する手順は、以下をご覧ください。

☞ P.122「6.3.3 設定を保存したい／元に戻したい」

⑧設定読込

⑦設定保存で保存した設定内容を読み込みます。設定を読み込む手順は、以下をご覧ください。

☞ P.122「6.3.3 設定を保存したい／元に戻したい」

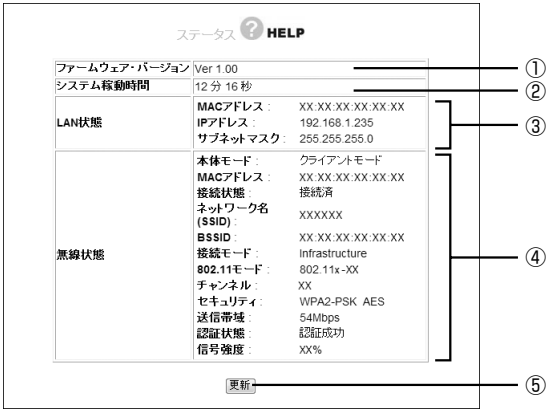
⑨ファームウェア更新

本商品のファームウェアを更新することができます。ファームウェアを更新する手順は以下をご覧ください。

☞ P.116「6.3.2 最新のファームウェアを入手して更新したい」

3.7　ステータス

本商品のステータスを表示します。



①ファームウェア・バージョン

ファームウェアのバージョンを表示します。

②システム稼働時間

連続稼働時間を表示します。再起動や初期化を行うと稼働時間はリセットされます。

③ LAN 状態

本商品の LAN 側の状態を表示します。

・MAC アドレス

本商品の LAN 側の MAC アドレスを表示します。

・IP アドレス

本商品の IP アドレスを表示します。

・サブネットマスク

本商品のサブネットマスクを表示します。

④無線状態

本商品の無線 LAN 側の状態を表示します。

・本体モード

本商品の動作している状態を、クライアントモードまたはアクセスポイントモードで表示します。

・**MAC アドレス**
本商品の無線 LAN 側の MAC アドレスを表示します。
・**接続状態**
アクセスポイント（親機）との接続状態を表示します。
・**ネットワーク名（SSID）**
無線 LAN のネットワーク名（SSID）を表示します。
・**BSSID**
無線 LAN の BSSID を表示します。
・**接続モード**
無線 LAN の接続モードを表示します。本商品は Infrastructure に対応します。Ad-Hoc には対応しません。
・**802.11 モード**
無線 LAN の動作モードを、802.11g/b または 802.11a で表示します。
・**チャンネル**
無線 LAN で使用しているチャンネルを表示します。
・**セキュリティ**
無線 LAN のセキュリティの状態を表示します。
・**送信帯域**
無線 LAN の現在の転送速度を表示します。
・**認証状態**
アクセスポイント（親機）との認証状態を表示します。
・**信号強度**
無線 LAN の信号強度をパーセントで表示します。

⑤[更新]
最新の状態に更新します。

アクセスポイントモード

第 4 章
本商品の設置と設定

この章ではアクセスポイント（親機）モード時の本商品の設定手順について説明します。

4.1 本商品の確認 66
4.1.1 動作環境 66
4.1.2 動作モードの設定 67
4.2 本商品の設置 68
4.2.1 設置する前に 68
4.2.2 設置方法 68
4.2.3 ネットワーク機器を接続する 69
4.2.4 電源を入れる／電源を切る 70
4.3 本商品の設定方法 71
4.4 WPS ボタンで接続する 72
4.5 設定ユーティリティで接続する 74
4.6 Window Vista で接続する 77
4.7 Windows XP で接続する 80
4.8 手動で接続する 84

4.1 本商品の確認

4.1.1 動作環境

本商品をアクセスポイント（親機）モードでお使いになる場合の動作環境は次のとおりです。

■対応する無線 LAN 機器

IEEE802.11a（W52/W53）/b/g のいずれかの規格に対応しているネットワーク機器（パソコンやデジタル家電など）

> **注意** **アクセスポイント（親機）モード時の本商品は、IEEE802.11a（J52）に対応していません。IEEE80211a（W52/W53）または IEEE80211b/g に対応しています。a ⇔ b/g の切替タイプです。**

■設定の変更に必要な機器

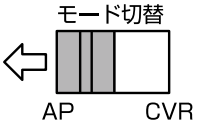
本商品の設定を変更する場合は、次の条件を満たす設定用のパソコンが必要になります。

- LAN ポート（RJ-45）を装備している
- TCP/IP が組み込まれている
- Windows Vista/XP/2000、Mac OSX（10.4 以降）のいずれかの OS が動作している
- Internet Explorer（Ver.6 以降）、Safari（Ver.1.2 以降）がインストールをされている

> **メモ** 無線 LAN から本商品の設定を行う場合、まず無線 LAN の設定を行う必要があるため、本書ではお勧めしていません。

4.1.2　動作モードの設定

本商品をアクセスポイント（親機）モードでお使いになる場合は、モード切替スイッチを次のとおりに設定します。設定が合っている場合は、変更する必要はありません。



> **注意**　モード切替スイッチの操作は、必ず本商品の電源を切った状態で行ってください。

アクセスポイント（親機）モード時の動作状態は次のとおりです。

切替スイッチ	「AP」
動作モード	アクセスポイント（親機）
IP アドレス	192.168.1.230

動作モードの設定が完了したら、**P.68**「4.2　本商品の設置」に進みます。

4.2 本商品の設置

本商品をアクセスポイント（親機）モードで使用する場合の設置方法を説明します。

4.2.1 設置する前に

本商品を設置する前に、**P.2**「安全にお使いいただくためにお読みください」を必ずお読みください。
設置については、次の点にご注意ください。

- 電波を妨げないような場所に設置してください。
- AC アダプタのケーブルやLAN ケーブルに無理な力が加わるような配置は避けてください。
- テレビ、ラジオ、無線機などのそばに設置しないでください。
- 十分な換気ができるように、本商品の上面と側面にある通気口をふさがないように設置してください。
- 傾いた場所や不安定な場所に設置しないでください。
- 本商品の上に物を置かないでください。
- 直射日光のあたる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。
- 本商品は屋外ではご使用になれません。
- コネクタの端子に触らないでください。静電気を帯びた手（体）でコネクタの端子に触れると静電気の放電により故障の原因になります。

4.2.2 設置方法

本商品にはゴム足が取り付けられていますので、そのまま机の上などの水平な場所に設置できます。
壁掛け用ネジセットを使用して壁面に取り付ける場合は、次の項目をご覧ください。
☞ P.140「**付録** 壁掛け用ネジセットを取り付ける」

4.2.3　ネットワーク機器を接続する

本商品とパソコンやネットワーク機器の接続に使用できるLANケーブルの種類と接続方法を説明します。

■LAN ケーブルの種類

本商品に使用できる LAN ケーブルは次のとおりです。

・LAN ケーブルのカテゴリ

対応する通信規格（通信速度）によって、次のカテゴリのケーブルを使用できます。

通信規格	LAN ケーブル（UTP ケーブル）の種類
100BASE-TX	カテゴリ５以上
10BASE-T	カテゴリ３以上

・LAN ケーブルの結線

本商品の LAN ポート（1 ～ 4）および Uplink ポートは、Auto MDI/MDI-X に対応しています。ストレートケーブルまたはクロスケーブルのどちらの結線でも接続できます。

・LAN ケーブルの長さ

本商品とネットワーク機器を接続するケーブルの長さは 100m以内にしてください。

■LAN ケーブルの接続方法

LAN ケーブルの接続手順は次のとおりです。

***1*　LAN ケーブルと本商品を接続します。**

LAN ケーブルを本商品の LAN ポート（1 ～ 4）または Uplink ポートに接続します。ケーブルはカチッと音がするまでしっかりと差し込みます。

***2*　LAN ケーブルをネットワーク機器に接続します。**

本商品に接続した LAN ケーブルをパソコンやネットワーク機器に接続します。Uplink ポートに接続した LAN ケーブルは、上位のネットワーク（ルータ付きモデムやスイッチングハブなどの既存のネットワーク）に接続します。

4.2.4 電源を入れる／電源を切る

本商品には電源スイッチがありません。AC アダプタを電源コンセントに接続すると本商品の電源が入ります。

> 注意
> ・必ず本商品に同梱している AC アダプタをお使いください。同梱の AC アダプタ以外は、本商品に接続しないでください。
> ・本商品に同梱している AC アダプタは、本商品以外に接続しないでください。

■電源を入れる

次の手順で本商品の電源を入れます。

> 注意
> 本商品の AC アダプタは、必ず AC100V の電源コンセントに接続してください。規格外の電源コンセントに接続すると、発熱による発火や、感電のおそれがあります。

1 AC アダプタを接続します。

AC アダプタの DC プラグを本体背面の DC ジャックに接続します。AC アダプタを AC100V の電源コンセントに接続します。

2 Power LED が点灯します。

電源が入ると、Power LED が点灯します。本商品が起動する間に Status LED が点灯→消灯します。起動が完了するまで 1 分程度お待ちください。

■電源を切る

本商品の電源を切るには、ACアダプタを電源コンセントから抜きます。

> 注意
> ・AC アダプタを電源コンセントに接続したまま、DC プラグを抜かないでください。感電するおそれがあります。
> ・電源を切った後に再び電源を入れる場合は、電源を切ってから 30 秒以上経過してから接続してください。連続で電源を切ったり入れたりすると、故障の原因となります。

4.3　本商品の設定方法

本商品は、WPS（Wi-Fi Protected Setup）による設定方法と、クライアント（子機）から手動で設定する方法の２とおりの設定方法を用意しています。それぞれ次の特長があります。

> 本商品に接続したいクライアント（子機）がWPS に対応している場合は、WPS で設定することをお勧めします。

■ WPS（Wi-Fi Protected Setup）

・簡単な手順でクライアント（子機）を本商品に接続できます
・WPA/WPA2-PSK による高いセキュリティが設定できます

> クライアント（子機）が WPS に対応している必要があります。

クライアント(子機)がWPSに対応している場合は､WPS での設定をお勧めします。
☞ P.72「4.4　WPS ボタンで接続する」
☞ P.74「4.5　設定ユーティリティで接続する」

■手動設定

・WPS に対応していないクライアント（子機）も接続できます
・WPA-PSK に対応していないクライアント（子機）も接続できます

> 本商品の設定を行う必要がある場合があります。

WPS や WPA-PSK に対応していないクライアント（子機）を接続する場合や、お使いのクライアント（子機）が対応するセキュリティが分からない場合は、手動で設定してください。
☞ P.77「4.6　Window Vista で接続する」
☞ P.80「4.7　Windows XP で接続する」
☞ P.84「4.8　手動で接続する」

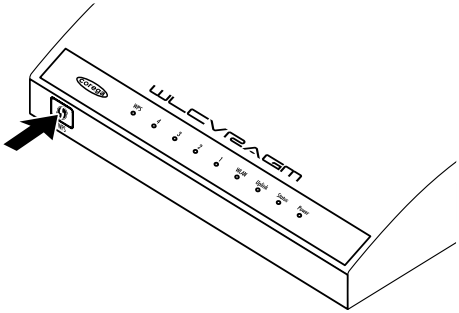
4.4 WPS ボタンで接続する

クライアント（子機）がWPS ボタンに対応している場合は、クライアント（子機）のWPS ボタンと、本商品の WPS ボタンを押すだけで簡単に無線 LAN を設定できます。

ここでは、本商品を 2 台使用して、1 台はクライアント（子機）モード、もう 1 台はアクセスポイント（親機）モードの場合の接続を例に説明します。

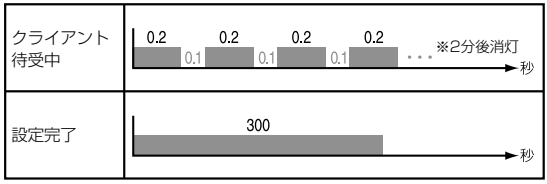
1 アクセスポイントの WPS ボタンを 2 秒以上押します。

アクセスポイント（親機）モードに設定されている本商品の WPS ボタンを 2 秒以上押します。WPS LED が点滅することを確認してから離します。



メモ

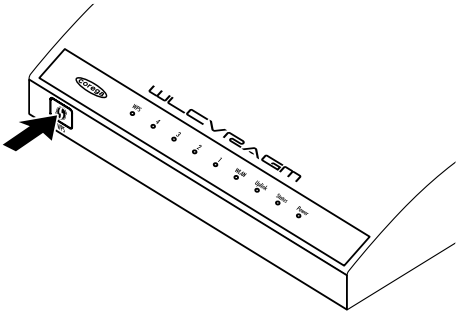
WPS LED の動作は次の表を参考にしてください（数字はおよその秒数を表します）。



（凡例）■：点灯 ␣：消灯

2　クライアントの WPS ボタンを押します。

クライアント（子機）モードに設定されている本商品のWPS ボタンを 2 秒以上押して、WPS LED が点滅することを確認してから離します。



3　アクセスポイントの検索が始まります。

> **注意**
> - **信号を受信しやすいように近づけてください。**
> - **検索は約 2 分間行いますが、環境によっては検索に時間がかかる場合があります。**

4　設定が完了します。

LED の表で動作を確認して、アクセスポイント（親機）モードの本商品の WPS LED が設定完了の動作になり、クライアント（子機）モードの本商品の WPS LED が消灯して再起動すると、WPS での設定が完了します。

> **注意**
> **LED の表で、設定完了の動作にならない場合は、WPS LED が消灯したあとに、はじめからやり直してください。**

以上で設定は完了です。
ネットワークに接続できることを確認してください。

4.5　設定ユーティリティで接続する

WPS に対応したクライアント（子機）をお使いの場合は、設定ユーティリティで設定します。
ここでは、クライアントに WPS 対応の CG-WLCB54GSX（コレガ無線 LAN ユーティリティ）を使用して、本商品に接続する手順を例に説明します。

1　クライアントの設定ユーティリティを起動します。

［Wi-Fi Protected Setup で自動接続］をクリックします。

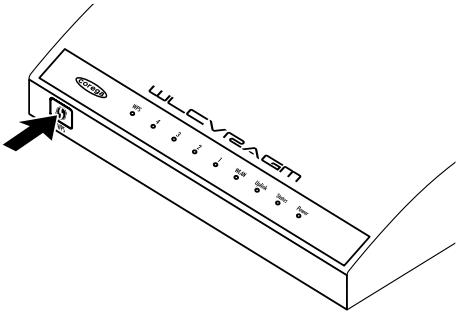
メモ　「Wi-Fi Protected Setup で自動接続」の表示方法は、各クライアント（子機）の「クライアントユーティリティ詳細設定ガイド（PDF マニュアル）」の「WPS で接続する」または「Wi-Fi Protected Setup で接続する」をご覧ください。

2　WPS の設定方法を選択します。

［プッシュボタンによる接続］をクリックします。

3　本商品の WPS ボタンを 2 秒以上押します。

本商品前面の WPS ボタンを 2 秒以上押して、WPS LED が点滅したことを確認してから離します。



メモ

WPS LED の動作は次の表を参考にしてください（数字はおよその秒数を表します）。

クライアント待受中	0.2　0.1　0.2　0.1　0.2　0.1　0.2　・・・　※2分後消灯　秒
設定完了	300　秒

（凡例）■：点灯　⌴：消灯

4　[Wi-Fi PROTECTED SETUP] をクリックします。

設定ユーティリティ画面上の「Wi-Fi PROTECTED SETUP」をクリックします。

5 アクセスポイントの検索が始まります。

> **注意**
> - **信号を受信しやすいように、本商品とクライアント（子機）を近づけてください。**
> - **検索は約 2 分間行いますが、環境によっては検索に時間がかかる場合があります。**

6 設定が完了します。

LED の表で動作を確認して、本商品の WPS LED が設定完了の動作になれば WPS での設定が完了します。

> **注意**
> **LED の表で、設定完了の動作にならない場合は、WPS LED が消灯したあとに、はじめからやり直してください。**

以上で設定は完了です。
ネットワークに接続できることを確認してください。

4.6　Window Vista で接続する

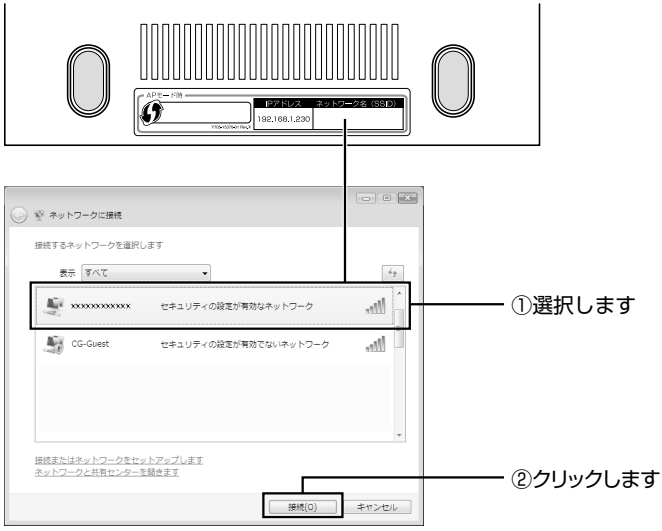
WPS に対応していないクライアント（子機）は、本商品の設定を手動で行います。ここでは Windows Vista での接続手順を説明します。

1　接続先を表示します

［スタート］－「接続先」の順にクリックします。

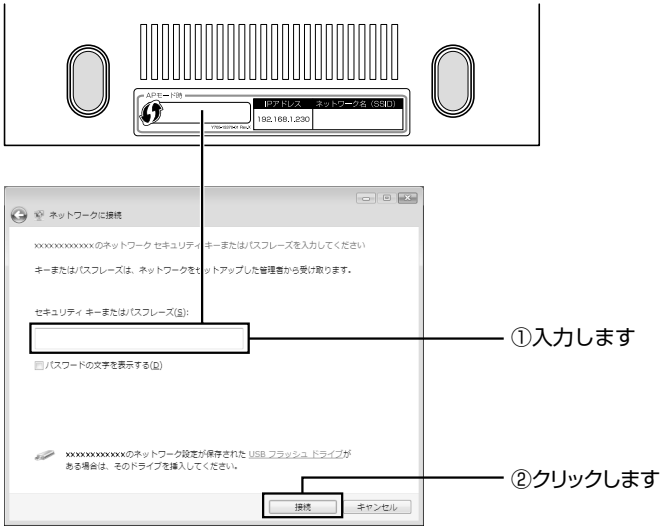
2　接続先を選択します。

一覧から本商品の SSID（初期設定のままの場合は、本体底面に記載されている「ネットワーク名（SSID）」）を選択して、［接続］をクリックします。



3 セキュリティキーを入力します。

セキュリティキーまたはパスフレーズ（初期設定のままの場合は、本体底面に記載されている「PIN コード」）を入力して、［接続］をクリックします。



4 設定を確認します。

「XXXXXX に正しく接続しました。」（XXXXXX は手順 2 で選択したネットワーク名）と表示されたことを確認して、［閉じる］をクリックします。

5　使用場所を選択します。

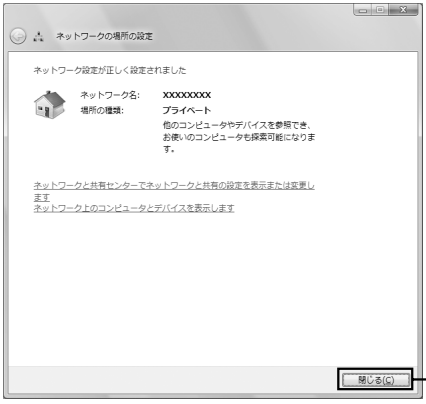
次の画面が表示されます。通常は、「家庭」を選択します。

6　「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。

［続行］をクリックします。

7　表示内容を確認します。

［閉じる］をクリックします。



以上で設定は完了です。
ネットワークに接続できることを確認してください。

4.7 Windows XP で接続する

WPS に対応していないクライアント（子機）は、本商品の設定を手動で行います。ここでは Windows XP での接続手順を説明します。

1 コントロールパネルを表示します。

［スタート］－「コントロールパネル」の順にクリックします。

2 ネットワークとインターネット接続をクリックします。

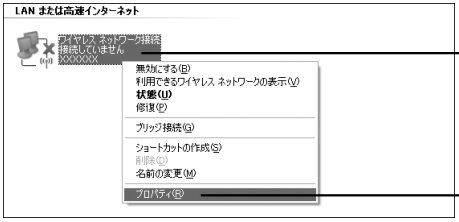
「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

> **メモ** クラシック表示の場合は、「ネットワーク接続」をダブルクリックして、手順 4 に進みます。

3 「ネットワーク接続」をクリックします。

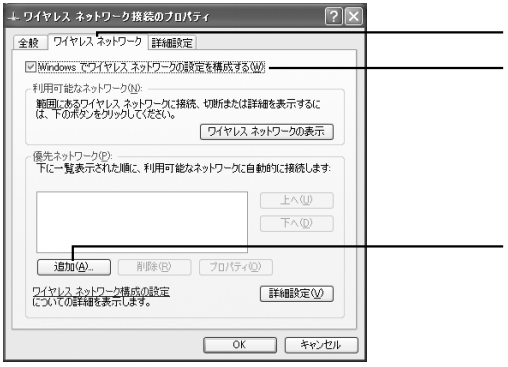
4 プロパティを表示します。

「ワイヤレスネットワーク接続」を右クリックして、プロパティをクリックします。



5 ワイヤレスネットワークを設定します。

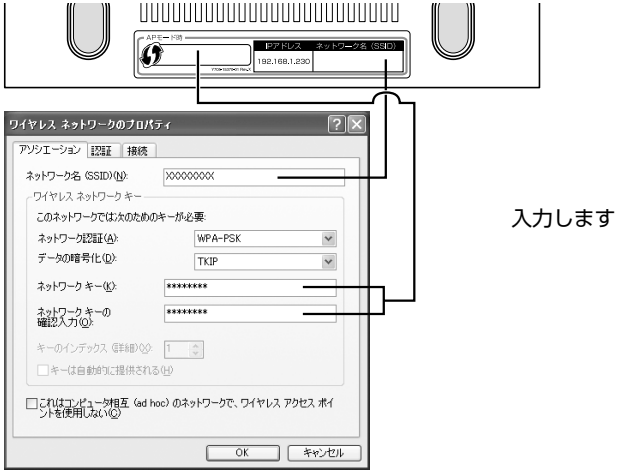
「ワイヤレスネットワーク」のタブをクリックして、「Windowsでワイヤレスネットワークの設定を構成する」にチェックを付け、［追加］をクリックします。



6 「アソシエーション」のタブをクリックします。

7 無線を設定します。

本商品の設定（初期設定のままの場合は、本体底面に記載の「ネットワーク名（SSID)」と「PIN コード」）に合わせて入力します。

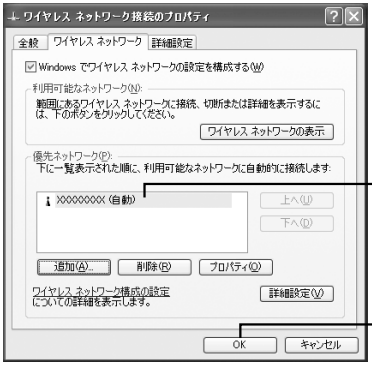


ネットワーク名（SSID）	本体底面の「AP モード時」の「ネットワーク名」に記載
ネットワーク認証	WPA-PSK
データの暗号化	TKIP
ネットワークキー	本体底面の「AP モード時」の「初期 PIN コード」に記載

入力後、［OK］をクリックして「アソシエーション」を閉じます。

8 設定を確認します。

「優先ネットワーク」に追加されたことを確認して、[OK] をクリックします。



9 「ワイヤレスネットワーク接続」をダブルクリックします。

「ネットワーク接続」で、「ワイヤレスネットワーク接続」をダブルクリックします。

10 接続状態を確認します。

接続の状態で「接続」になることを確認します。

以上で設定は完了です。
ネットワークに接続できることを確認してください。

4.8　手動で接続する

パソコンメーカや周辺機器メーカ独自の無線LAN設定ユーティリティで設定する場合は、次の項目を設定してください。

ネットワーク名（SSID）	本体底面の「AP モード時」の「ネットワーク名」に記載
ネットワーク認証	WPA-PSK
データの暗号化	TKIP
ネットワークキー	本体底面の「AP モード時」の「初期PIN コード」に記載

設定完了後、各設定ユーティリティで無線電波を確認して、ネットワークに接続できることを確認してください。

アクセスポイントモード

第５章
設定画面の詳細説明

この章では、アクセスポイント（親機）モード時の本商品の設定画面で設定できる機能について説明します。

5.1　設定画面の説明 86
5.1.1　設定用パソコンを接続する 86
5.1.2　設定画面を表示する 86
5.2　設定画面の全体構成 88
5.3　モード 90
5.4　詳細設定 91
5.4.1　本体 IP 92
5.4.2　無線アクセスポイント設定 93
5.5　管理 103
5.6　ステータス 105

5.1 設定画面の説明

本章では、アクセスポイント（親機）モード時の設定画面について説明します。本商品をお使いになって、「もっと使いこなしたい」、「設定の詳しい情報が知りたい」と思ったときは、本章をご覧ください。

5.1.1 設定用パソコンを接続する

設定画面を表示するために、次の手順で設定用パソコンを接続します。

1 設定用パソコンを準備します。

設定用パソコンの IP アドレスを、次のとおりに設定します。

IP アドレス	192.168.1.123 ※192.168.1.230 を除く、192.168.1.1 ～ 192.168.1.254 の範囲で設定できますが、ここでは 192.168.1.123 を例に説明します。
サブネットマスク	255.255.255.0

☞ P.132「6.3.8 パソコンの IP アドレスを設定したい」
☞ P.110「6.2.2 設定画面が表示されない」

2 本商品に設定用パソコンを接続します。

設定用パソコンと本商品を、LAN ケーブルで接続します。

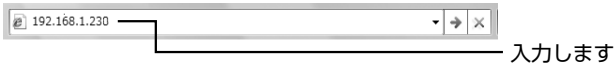
5.1.2 設定画面を表示する

次の手順で本商品の設定画面を表示します。

> **注意** **あらかじめ、本商品のモード切替スイッチが「AP」になっていることを確認してください。**

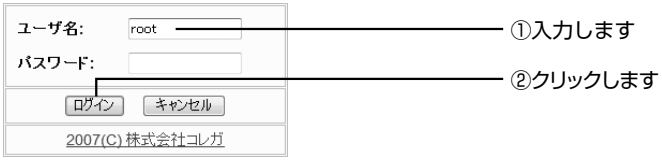
1 設定画面を表示します。

Web ブラウザを起動して、アドレスに「192.168.1.230」と入力して、設定画面を表示します。



2　設定画面にログインします。

ユーザ名に「root」と入力して［ログイン］をクリックします。



3　設定画面が表示されます。

各種設定の完了後、設定用パソコンの IP アドレスなどの設定は元に戻してください。

5.2　設定画面の全体構成

本商品の設定画面のトップページです。左側のメニューで各種設定を行うほか、重要な情報を表示します。

※画面は 802.11g/b モードの場合

①コレガロゴ

インターネット接続時にクリックすると、コレガホームページを表示します。

②本体モード

現在の動作モードを表示します。

［状態］をクリックすると、**P.105**「5.6　ステータス」を表示します。

③ネットワーク名（SSID）

現在のネットワーク名（SSID）を表示します。

［設定］をクリックすると、**P.95**「■ 802.11g/b 設定／802.11a 設定」を表示します。

④セキュリティ

現在のセキュリティ設定を表示します。

［設定］をクリックすると、**P.99**「■ 802.11g/b セキュリティ設定／802.11a セキュリティ設定」を表示します。

⑤[ログアウト]

クリックすると設定画面からログアウトします。再度、設定画面を表示するには、ログアウト画面で［再ログイン］をクリックします。

⑥モード

クリックすると **P.90**「5.3　モード」を表示します。

本商品の動作モードを設定できます。

⑦詳細設定

クリックすると **P.91**「5.4　詳細設定」を表示します。

アクセスポイント（親機）の詳細な項目を設定します。

⑧管理

クリックすると **P.103**「5.5 管理」を表示します。
本商品の管理者ログイン名やパスワードなどを設定できます。

⑨ステータス

クリックすると **P.105**「5.6 ステータス」を表示します。
本商品のステータスを表示します。

メモ

- 本章では例を使用して説明しています。実際にはお使いの環境に合った値を入力してください。
- 各画面にある「HELP」をクリックすると、設定項目の説明が表示されます。
- 各画面にある［設定］をクリックすると、現在の内容を本商品に設定します。
- 各画面にある［取消］をクリックすると、設定中の内容を取り消します。
- 各画面にある［戻る］をクリックすると、1 階層上の画面に戻ります。

5.3 モード

本商品の動作モードを設定できます。

①本体モード

本商品の動作モードを表示します。

・アクセスポイントモード

アクセスポイント（親機）として動作しています。

②無線アクセスポイント機能

無線アクセスポイント機能の有効／無効を設定します。

・無線アクセス無効

無線アクセスポイント機能を使用しません。

・無線アクセス 802.11a 有効

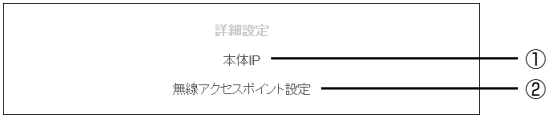
無線アクセスポイント機能を使用します。802.11a で動作します。

・無線アクセス 802.11g/b 有効

無線アクセスポイント機能を使用します。802.11g/b で動作します（初期値）。

5.4　詳細設定

アクセスポイントの詳細な項目を設定できます。



①本体 IP

クリックすると **P.92**「5.4.1　本体 IP」を表示します。
本商品の IPアドレスを設定します。

②無線アクセスポイント設定

クリックすると **P.93**「5.4.2　無線アクセスポイント設定」を表示します。
本商品の無線 LAN を設定します。

5.4.1 本体 IP

本商品の IP アドレスを設定できます。

①MAC アドレス

本商品の LAN 側の MAC（Media Control Access）アドレスが表示されます。

※MAC アドレスは変更できません。

②IP アドレス

本商品の IP アドレスです。ネットワークに合わせて設定します。IP アドレスの値は「0」から「255」までの数字と「.（ピリオド）」で入力します（初期値：192.168.1.230）。

③サブネットマスク

本商品のサブネットマスクです。ネットワークに合わせて設定します。サブネットマスクの値は「0」から「255」までの数字と「.（ピリオド）」で入力します（初期値：255.255.255.0）。

④ゲートウェイ

本商品のデフォルトゲートウェイです。お使いのネットワークに合わせて設定します。デフォルトゲートウェイの値は「0」から「255」までの数字と「.（ピリオド）」で入力します（初期値：空欄）。

5.4.2　無線アクセスポイント設定

ネットワーク名（SSID）やセキュリティなど、無線アクセスポイントの機能を設定します。

> 本商品の無線アクセスポイント機能が無効の場合は表示されません。

※画面は 802.11g/b モードの場合

①無線アクセスポイント機能

有効になっている 802.11 モードを表示します。

② Wi-Fi Protected Setup

Wi-Fi Protected Setup を設定します。

③ 802.11g/b 設定／802.11a 設定

802.11g/b または 802.11a の通信設定を行います。

④ 802.11g/b セキュリティ設定／802.11a セキュリティ設定

802.11g/b または 802.11a のセキュリティ設定を行います。

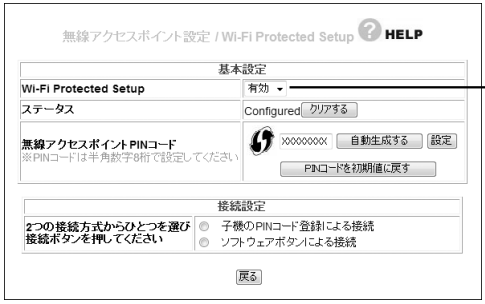
⑤アクセス制限

無線端末（クライアント）の MAC アドレスによるアクセスの制限を設定します。

■Wi-Fi Protected Setup

無線セキュリティを簡単に設定できる「Wi-Fi Protected Setup」の設定を表示します。Wi-Fi Protected Setup は対応機種のみ使用できます。通常は設定画面で設定を変更する必要はありません。
Wi-Fi Protected Setup で無線セキュリティを設定する場合は、本書の **P.65**「**第 4 章** 本商品の設置と設定」または Wi-Fi Protected Setup 対応機種に付属の「無線クライアントユーティリティ　詳細設定ガイド」をご覧ください。

○Wi-Fi Protected Setup　有効時



○Wi-Fi Protected Setup　無効時

①Wi-Fi Protected Setup

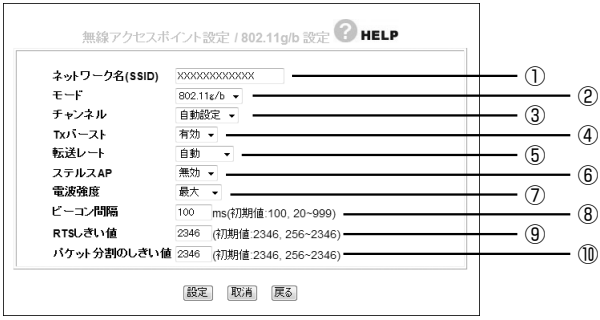
WPS の有効／無効を設定します。

・有効：WPS は有効です（初期値）。
・無効：WPS は無効です。

■802.11g/b 設定／802.11a 設定

802.11g/b または 802.11a の通信設定を行います。

○ 802.11g/b の場合



①ネットワーク名（SSID）

無線 LAN に接続する機器を識別するネットワークグループ名です。接続するすべての無線 LAN アダプタに同じ名前を設定します。32 文字以内の半角英数字または半角記号で入力してください。

> メモ　工場出荷時の SSID は本商品底面の「ネットワーク名（SSID/MAC)」に記載されています。

②モード

802.11 の動作モードを設定できます。

- 802.11g/b:802.11gまたは802.11bを使用します(初期値)。
- 802.11g：802.11gのみを使用します。
- 802.11b：802.11bのみを使用します。

③チャンネル

使用する電波の周波数（無線チャンネル）を設定します。本商品を複数台設定する場合や、周辺の電波と混信するような場合に変更してください。

- 自動設定：空きチャンネル自動検索機能で最適なチャンネルを自動で設定します（初期値)。
- 1 ～ 13：チャンネルを指定したい場合に 1 ～ 13 チャンネルのいずれかを選択します。

※通常は「自動設定」から変更する必要はありません。

④Tx バースト

通信データを圧縮することによって通信速度を向上させることができます。ただし、Txバーストに対応した無線クライアントが必要です。また、通信するデータによって圧縮率が異なります。

有効：Txバーストは有効です（初期値）。

無効：Txバーストは無効です。

⑤転送レート

転送レート（無線 LAN の通信速度）を「自動設定」、「1 ～ 54Mbps」で変更できます（初期値：自動設定）。

※通常は「自動設定」から変更する必要はありません。

⑥ステルス AP

本商品の SSID を検索されないようにしたり、SSID を「ANY」や空白にしているパソコンからのアクセスを拒否できます。

・有効：ステルス AP を有効にします。

・無効：ステルス AP を無効にします（初期値）。

⑦電波強度

本商品の電波出力の強度を「最大」、「50%」、「25%」、「12.5%」、「最小」から選択できます（初期値：最大）。

※通称は変更する必要はありません。

⑧ビーコン間隔

アクセスポイントが常に発信する、アクセスポイントの情報の入ったショートパケット（ビーコン）の送信間隔を「20 ～ 1000」で設定できます（初期値：100）。

※通常は変更する必要はありません。

⑨RTS しきい値

無線 LAN のパケットを送信する前に送信する RTS（送信要求）パケットのしきい値を「256 ～ 2346」で設定できます（初期値：2346）。

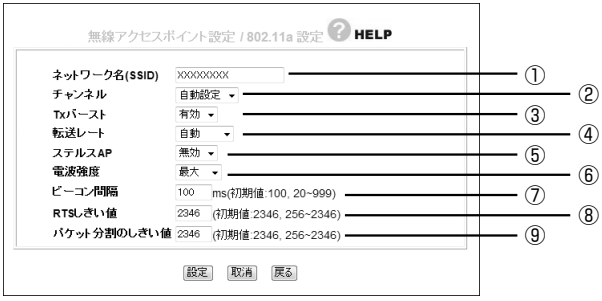
※通常は変更する必要はありません。

⑩パケット分割のしきい値

無線 LAN のパケットを分割するしきい値を「256 ～ 2346」で設定できます（初期値：2346）。

※通常は変更する必要はありません。

○ 802.11a の場合



①ネットワーク名（SSID）

802.11g/b 設定と同じ内容です。

②チャンネル

使用する電波の周波数（無線チャンネル）を設定します。本商品を複数台設定する場合や、周辺の電波と混信するような場合に変更してください。

・自動設定：空きチャンネル自動検索機能で最適なチャンネルを自動で設定します（初期値）。

・36 ～ 64: チャンネルを指定したい場合に 36/40/44/48/52/56/60/64 チャンネルのいずれかを選択します。

※ 通常は「自動設定」から変更する必要はありません。

③ Tx バースト

802.11g/b 設定と同じ内容です。

④転送レート

転送レート（無線 LAN の通信速度）を「自動設定」、「6 ～ 54Mbps」で変更できます（初期値：自動設定）。

※ 通常は「自動設定」から変更する必要はありません。

⑤ステルス AP

802.11g/b 設定と同じ内容です。

⑥電波強度

802.11g/b 設定と同じ内容です。

⑦ビーコン間隔

802.11g/b 設定と同じ内容です。

⑧RTS しきい値

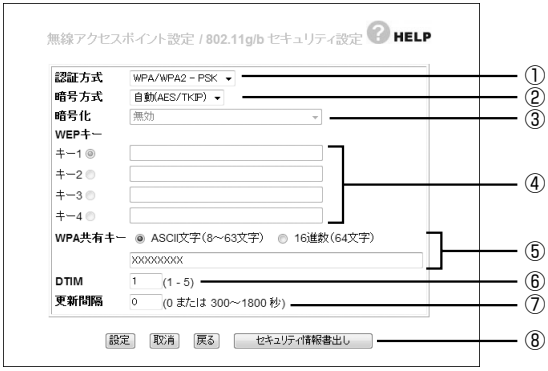
802.11g/b 設定と同じ内容です。

⑨パケット分割のしきい値

802.11g/b 設定と同じ内容です。

■802.11g/bセキュリティ設定／802.11aセキュリティ設定

無線 LAN セキュリティを設定します。



※画面は 802.11g/b モードの場合

①認証方式

無線 LANの認証方式を設定します。

・Open System

オープンシステム認証で接続します。②暗号方式は「無効」または「WEP」のどちらかを設定します。

・Shared Key

シェアードキー（共有キー）認証で接続します。②暗号方式は自動的に「WEP」になります。WEP の設定が必要です。

・WPA2-PSK

WPA2-PSK（パーソナル）で接続します。事前共有キーを使用します。②暗号方式は、「AES」になります。

・WPA/WPA2-PSK

WPA2-PSK（パーソナル）または WPA-PSK（パーソナル）で接続します。事前共有キーを使用します。
WPA/WPA2-PSK は、無線クライアントが WPA2-PSK または WPA-PSK のどちらでも接続できます。
②暗号方式は、「自動（AES/TKIP)」または「AES」のいずれかを設定します。

②暗号方式

無線 LAN の暗号方式を設定します。

・無効

セキュリティを使用しません。①認証方式で「Open System」を設定したときのみ選択できます。

・WEP

WEP で暗号化します。①認証方式で「Open System」、「Shared Key」を設定したときに WEP で暗号化できます。

・自動（AES/TKIP）、AES

AES または TKIP で暗号化します。①認証方式で「WPA2-PSK」または「WPA/WPA2-PSK」を設定したときに、AES または TKIP で暗号化します。なお、①認証方式で「WPA2-PSK」または「WPA/WPA2-PSK」を設定したときは、⑤ WPA 共有キーの設定が必要です。

③暗号化

①認証方式で「Open System」または「Shared Key」を設定し、②暗号方式で「WEP」を設定したときに、WEP の暗号強度を次のどれかに設定します。

- 64Bit-16 進数（0-9/a-f）10 桁
- 128Bit-16 進数（0-9/a-f）26 桁
- 64Bit-ASCII（半角英数記号）5 文字
- 128Bit-ASCII（半角英数記号）13 文字

④ WEP キー

①認証方式で「Open System」または「Shared Key」を設定し、②暗号方式で「WEP」を設定したときに、③暗号化で設定した強度にしたがって、「キー 1」に WEP の暗号キーを設定します。暗号キーは「キー 1」から「キー 4」の 4 つを設定しておくことができますが、実際に使用する暗号キーは 1 つだけです。チェックを付けたキーが使用されます。

⑤ WPA 共有キー

①認証方式で「WPA2-PSK」または「WPA/WPA2-PSK」を設定したときに WPA 共有キーを設定します。共有キーは ASCII 文字または 16進数のどちらかの入力方法を選択できますが、通常は ASCII 文字を使用してください。

・ASCII 文字

8 文字以上 63 文字以内の半角英数字または半角記号で設定します。

・16 進数

64 文字以内の 16 進数（0-9 の半角数字、a-f の半角アルファベット）で設定します。

⑥ DTIM

DTIM（配信トラフィック・インディケータ・メッセージ）の通信間隔の値を設定します（初期値：1）。

※ 通常は変更する必要がありません。

⑦更新間隔

①認証方式で「WPA2-PSK」または「WPA/WPA2-PSK」を設定したときに、暗号キーを更新する間隔を指定します。更新間隔を短くすると安全性は高くなりますが、通信速度は低下します。

⑧[セキュリティ情報書出し]

無線 LANのセキュリティ情報をまとめて表示します。

■アクセス制限

①MAC アドレスフィルタリング

本商品に無線LAN でアクセスすることができる無線LAN クライアントの MAC アドレスをあらかじめ登録しておき、接続を許可／拒否する設定ができます。

・有効

MAC アドレスフィルタリング機能を有効にします。MAC アドレス登録リストに MAC アドレスを登録した無線クライアント（子機）だけが無線接続できます。

・無効

MAC アドレスフィルタリング機能を無効にします。すべての無線クライアント（子機）の接続を許可します。

②MAC アドレス

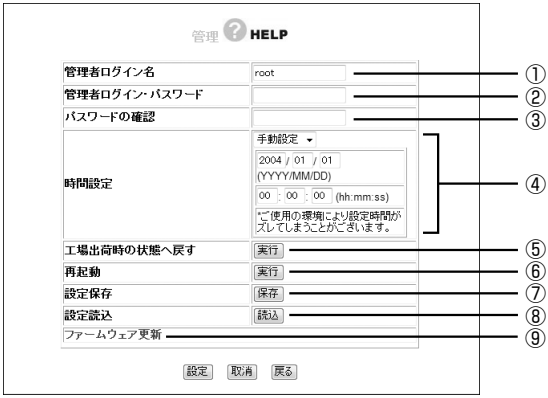
接続を許可したい無線クライアントのMAC アドレスを入力して［追加］をクリックすると、MAC アドレス登録リストに追加します。

③MAC アドレス登録リスト

本商品に接続できる無線クライアントの一覧です。

5.5　管理

ログイン名やパスワードなどを設定できます。



①管理者ログイン名

設定画面のログイン名を変更します。設定変更後はこのログイン名で設定画面にログインします（初期値：root）。

②管理者ログイン・パスワード

設定画面のログイン・パスワードを設定します。空欄に設定した場合はパスワードを入力しなくても設定画面にログインできます（初期値：空欄）。

③パスワードの確認

確認のため②管理者ログイン・パスワードで設定したパスワードを入力します。

④時間設定

本商品の時間を設定します。

- **自動設定**

  NTP サーバを検出して自動で時刻を設定します。

- **手動設定**

  手動で「年／月／日」の順に設定します（初期値：2004/1/1 00:00:00）。

> メモ　自動で時刻を合わせるには、「本体 IP」でゲートウェイを設定する必要があります。
> ☞ P.92「5.4.1　本体 IP」

⑤工場出荷時の状態へ戻す

本商品の設定を工場出荷時の初期設定に戻します。

☞ P.128「6.3.5 工場出荷時の状態に戻したい」

⑥再起動

本商品を再起動します。

☞ P.126「6.3.4 再起動したい」

⑦設定保存

現在の設定内容をファイルに保存することができます。

☞ P.122「6.3.3 設定を保存したい／元に戻したい」

⑧設定読込

⑦設定保存で保存した設定内容を読み込みます。

☞ P.122「6.3.3 設定を保存したい／元に戻したい」

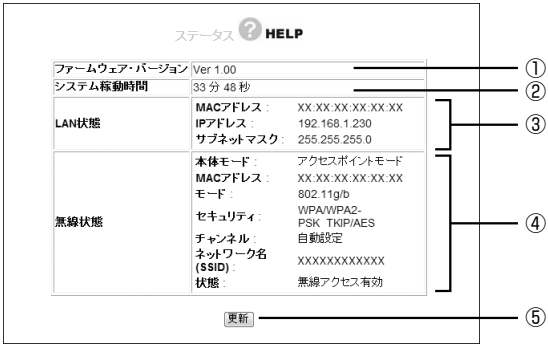
⑨ファームウェア更新

本商品のファームウェアを更新することができます。

☞ P.116「6.3.2 最新のファームウェアを入手して更新したい」

5.6　ステータス

本商品のステータスを表示します。



※画面は 802.11g/b モードの場合

①ファームウェア・バージョン

ファームウェアのバージョンを表示します。

②システム稼働時間

連続稼働時間を表示します。再起動や初期化すると稼働時間はリセットされます。

③ LAN 状態

本商品の LAN 側の状態を表示します。

・MAC アドレス

本商品の LAN 側の MAC アドレスを表示します。

・IP アドレス

本商品の IP アドレスを表示します。

・サブネットマスク

本商品のサブネットマスクを表示します。

④無線状態

本商品の無線 LAN 側の状態を表示します。

・本体モード

本商品の動作している状態を、クライアント（子機）モードまたはアクセスポイント（親機）モードで表示します。

・MAC アドレス

本商品の無線 LAN 側の MAC アドレスを表示します。

・**モード**

無線 LAN の動作モードを、802.11g/b または 802.11a で表示します。

・**セキュリティ**

無線 LAN のセキュリティの状態を表示します。

・**チャンネル**

無線 LAN で使用しているチャンネルを表示します。

・**ネットワーク名（SSID）**

無線 LAN のネットワーク名（SSID）を表示します。

・**状態**

無線アクセスポイント機能の有効／無効を表示します。

⑤[更新]

最新の状態に更新します。

第 6 章
トラブル解決と Q&A

6.1 トラブル対処の方法 108
6.2 トラブルシューティング 109
6.2.1 電源が入らない 109
6.2.2 設定画面が表示されない 110
6.2.3 無線で接続できない 113
6.2.4 LAN ポートに接続した機器で接続できない 113
6.2.5 4th MEDIA や OCN シアターが見られない 114
6.2.6 ユーザ名（管理者ログイン名）、パスワードを忘れた 114
6.3 よくあるご質問 115
6.3.1 無線通信の効率を上げたい 115
6.3.2 最新のファームウェアを入手して更新したい 116
6.3.3 設定を保存したい／元に戻したい 122
6.3.4 再起動したい 126
6.3.5 工場出荷時の状態に戻したい 128
6.3.6 ユーザ名（管理者ログイン名）、パスワードを変更したい 130
6.3.7 パソコンの IP アドレスを調べたい 131
6.3.8 パソコンの IP アドレスを設定したい 132

6.1　トラブル対処の方法

本商品を使っていて困ったときは、次のステップに従って対処方法を確認してください。

STEP1	**取扱説明書（本書）で設定を再確認する** **管理者などに問い合わせる**

それでも解決できないときは…

STEP2	**STEP2　本章「トラブル解決と Q&A」を確認する** ☞ **P.109**「6.2 トラブルシューティング」 ☞ **P.115**「6.3 よくあるご質問」

それでも解決できないときは…

STEP3	**コレガホームページ（http://corega.jp/）の情報を活用する** 本商品の最新情報、よくあるお問い合わせ、最新のファームウェアなどを提供しています。

それでも解決できないときは…

STEP4	**コレガサポートセンタに問い合わせる** 連絡先は取扱説明書（本書）の裏表紙をご覧ください。

6.2　トラブルシューティング

よくあるトラブルと対処方法を説明します。

6.2.1　電源が入らない

電源が入らないときは、次の内容を確認してください。

現象	・電源が入らない ・Power LED が点灯しない
対処方法	AC アダプタのケーブルに断線がないか、AC アダプタが正しく接続されているか、正しい電源・電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。 それでも電源が入らない場合は、本商品に問題がある可能性があります。次の項目をご覧になり修理を依頼してください。 ☞ P.145 「■修理について」

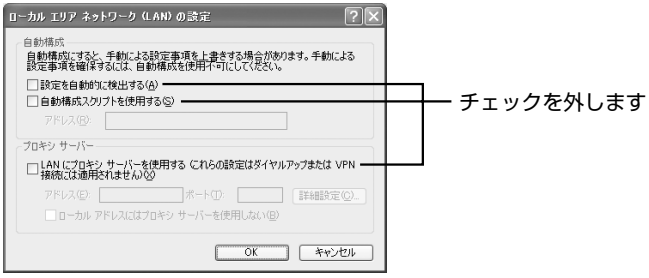
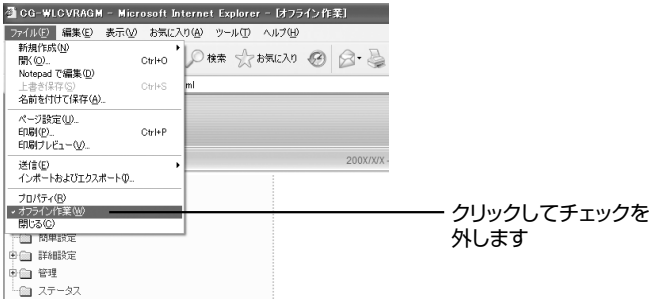
6.2.2 設定画面が表示されない

本商品の設定画面が表示されないときは、次の内容を確認してください。

<table>
<tr><td>現象</td><td>・本商品に接続できない
・本商品のログイン画面、設定画面が表示されない
・設定できない</td></tr>
<tr><td>対処方法 1</td><td>設定用パソコンのネットワーク設定を変更して、本商品と設定用パソコンを直接 LAN ケーブルで接続してください。
本商品の工場出荷時の IP アドレスおよびサブネットマスクは次のとおりです。
<table><tr><td>IP アドレス</td><td>192.168.1.230</td></tr><tr><td>サブネットマスク</td><td>255.255.255.0</td></tr></table>
そのため、設定用パソコンの IP アドレスとサブネットマスクは次のとおり設定する必要があります。
<table><tr><td>IP アドレス</td><td>192.168.1.230 を除く、以下の範囲内
192.168.1.1 ～ 192.168.1.254</td></tr><tr><td>サブネットマスク</td><td>255.255.255.0</td></tr></table>
☞ P.132「6.3.8 パソコンの IP アドレスを設定したい」

すでに設定用に使用するパソコンが本商品以外のネットワークに接続されている場合は、いったんネットワークから切り離して、本商品を設定するために IP アドレスなどを変更する必要があります。
また、本商品の設定後にパソコンの設定を元に戻す必要がありますので、現在パソコンに設定されている IP アドレスなどはメモに控えておいてください。</td></tr>
</table>

対処方法 2	設定用パソコンで、ウイルス対策ソフト、ファイアウォールソフトなどのセキュリティソフトが起動していると、本商品の設定に失敗することがあります。 そのため、セキュリティソフトをお使いの場合は、以下の手順に従ってください。 （1）セキュリティソフトを停止する （2）本商品を設定する （3）セキュリティソフトを再度起動する なお、セキュリティソフトの停止方法、起動方法は、お使いのセキュリティソフトの取扱説明書をご覧ください。
対処方法 3	設定用パソコンの OS が Windows XP SP2 の場合、ファイアウォール機能が動作していると本商品を設定できないことがあります。次の手順で一時的にファイアウォール機能を停止させてください。 （1）［スタート］－［コントロールパネル］をクリックします。 （2）「セキュリティセンター」－「Windows ファイアウォール」（画面の下方にあります）の順にダブルクリックします。クラシック表示を使用している場合は、「Windows ファイアウォール」をダブルクリックします。 （3）「Windows ファイアウォール」画面の「全般」タブを選択し、「無効（推奨されません）」にチェックを付けて［OK］をクリックします。 なお、本商品の設定を終了したあとで、必ず Windows ファイアウォールの設定を元に戻してください。

対処方法 4	Web ブラウザでプロキシサーバを使う設定になっていると、本商品の設定画面が表示されません。次の手順で、Webブラウザでプロキシサーバを使用しない設定にしてください。 **〈Internet Explorer 6.0 の例〉** （1）Internet Explorer を起動し、「ツール」－「インターネットオプション」をクリックします。 （2）「インターネットオプション」画面の「接続」タブをクリックします。 （3）［LAN の設定］をクリックします。 （4）「ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定」画面で、「設定を自動的に検出する」、「自動構成スクリプトを使用する」および「LAN にプロキシサーバーを使用する」のチェックを外します。  （5）［OK］をクリックします。 （6）「インターネットオプション」画面で［OK］をクリックし、パソコンを再起動します。
対処方法 5	Internet Explorer を起動したときに、タイトルバーに「オフライン作業」と表示されていると、ネットワークと通信していないため、本商品のを正常に設定することができません。 この場合は、Internet Explorer のメニューから「ファイル」－「オフライン作業」をクリックして、チェックを外してください。 

6.2.3　無線で接続できない

本商品と無線 LAN で接続できないときは、次の内容を確認してください。

現象	・無線 LAN アダプタを取り付けたパソコンから本商品に接続できない ・セキュリティの設定をしたら通信できなくなった
対処方法	セキュリティには、無線グループの ESSID（SSID）、認証方式、暗号化などがあり、通信するすべての機器に同じセキュリティが設定されていなければ通信することができません。 本商品のセキュリティ設定を確認したうえで、お使いの無線 LAN アダプタに同じセキュリティ設定をしてください。 本商品のセキュリティ設定の初期値については、次の項目をご覧ください。 ☞ P.144「**付録** 工場出荷時設定」 お使いの無線 LAN アダプタの設定方法については、お使いの無線 LAN アダプタの取扱説明書をご覧ください。

6.2.4　LAN ポートに接続した機器で接続できない

有線 LAN で接続できないときは、次の内容を確認してください。

現象	・Uplink LED または LAN LED（1 ～ 4）が点灯（点滅）しない ・通信できない
対処方法 1	接続先の機器に電源が入っているか確認してください。また、パソコンに取り付けられている LAN アダプタに障害がないか、LAN ケーブルが LAN アダプタに正しく接続され、通信可能な状態にあるかなどを確認してください。
対処方法 2	LAN ケーブルが正しく接続されているか、正しい LAN ケーブルを使用しているか、LAN ケーブルが断線していないかなどを確認してください。 LAN ケーブルの不良は外観からは判断しにくいため（結線は良いが特性が悪い場合など）、ほかの LAN ケーブルに交換して試してみてください。 なお、使用できる LAN ケーブルについては次の項目をご覧ください。 ☞ P.31「2.2.3 ネットワーク機器を接続する」 ☞ P.69「4.2.3 ネットワーク機器を接続する」
対処方法 3	特定のポートが故障している可能性があります。LAN ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。 別のポートで問題がない場合、次の項目をご覧になって修理を依頼してください。 ☞ P.145 「■修理について」

6.2.5 4th MEDIA や OCN シアターが見られない

4th MEDIA（フォースメディア）やOCN シアターなどが見られなくなった場合は、次の内容を確認してください。

現象	クライアント（子機）モードで本商品を接続したら、今まで見られた 4th MEDIA（フォースメディア）や OCN シアターが見られなくなった。
対処方法 1	4th MEDIA（フォースメディア）やOCN シアターではIPv6 プロトコルを使用しています。そのため、本商品の IPv6 ブリッジを有効にする必要があります。 メモ 複数台のネットワーク機器でのIPv6通信はお勧めしません。 ☞ P.56「3.5.2 IPv6 ブリッジ」

6.2.6 ユーザ名（管理者ログイン名）、パスワードを忘れた

ユーザ名（管理者ログイン名）、パスワードを忘れて設定画面にログインできないときは、次のとおり対処してください。

現象	・ユーザ名（管理者ログイン名）を忘れてしまった ・パスワードを忘れてしまった ・以下の画面が表示されてログインできない
対処方法	ユーザ名（管理者ログイン名）およびパスワードを忘れてしまうと、本商品の設定画面にログインできなくなります。この場合は、本商品を工場出荷時の状態に戻すことで、ユーザ名（管理者ログイン名）およびパスワードが初期化されます。ただし、本商品の設定がすべて工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。 ☞ P.128「6.3.5 工場出荷時の状態に戻したい」 あらかじめ本商品の設定内容をファイルに保存しておくと、設定ファイルを読み込んで本商品の設定を元に戻すことができます。 ☞ P.122「6.3.3 設定を保存したい／元に戻したい」

6.3　よくあるご質問

よくあるご質問とその回答を説明しています。

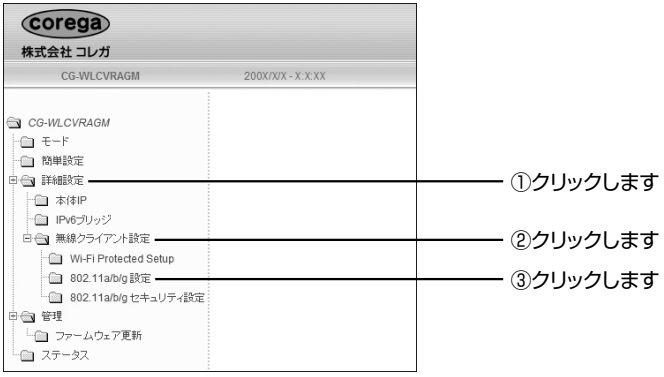
☞ P.115「6.3.1 無線通信の効率を上げたい」
☞ P.116「6.3.2 最新のファームウェアを入手して更新したい」
☞ P.122「6.3.3 設定を保存したい／元に戻したい」
☞ P.126「6.3.4 再起動したい」
☞ P.128「6.3.5 工場出荷時の状態に戻したい」
☞ P.130「6.3.6 ユーザ名（管理者ログイン名）、パスワードを変更したい」
☞ P.131「6.3.7 パソコンの IP アドレスを調べたい」
☞ P.132「6.3.8 パソコンの IP アドレスを設定したい」

6.3.1　無線通信の効率を上げたい

本商品は、無線通信を効率よく通信する「Tx バースト」機能に対応しています。これにより、同じ「Tx バースト」に対応した無線 LAN 機器間での通信効率を上げることができます。
Tx バーストは次の手順で設定します。

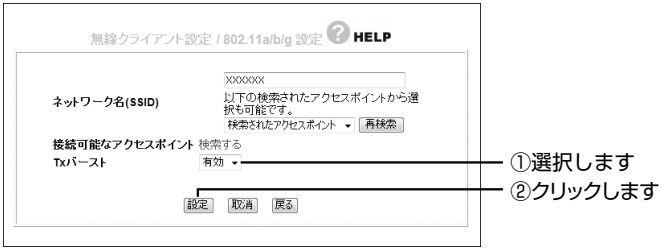
1　設定画面を表示します。

画面左側のメニューから「詳細設定」－「無線クライアント設定」（または「無線アクセスポイント設定」）－「802.11a/b/g 設定」（または「802.11g/b 設定」、「802.11a 設定」）をクリックします。



2 Tx バーストを設定します。

「Txバースト」を「有効」にして、［設定］をクリックします。



以上で、Txバーストの設定が完了しました。

6.3.2 最新のファームウェアを入手して更新したい

本商品の機能強化のため予告なくファームウェアのバージョンアップを行うことがあります。最新のファームウェアはコレガホームページ（http://corega.jp/）から入手してください。

注意

- **更新するファームウェアのバージョンによっては、更新前に設定されていたデータが反映されない場合があります。**
- **ファームウェアを更新する前に設定内容をファイルに保存しておくことをお勧めします。**
- **ファームウェアを更新中は、ほかの操作を行ったり、本商品の電源を切ったりしないでください。更新に失敗したり、本商品の故障の原因となる場合があります。**

■ファームウェアを用意する

1 コレガホームページで確認します。

コレガホームページのダウンロードページで、最新のファームウェアが公開されているか確認します。最新ファームウェアが公開されている場合はファイルをダウンロードします。

メモ

最新ファームウェアが公開されていない場合は、更新する必要はありません。
Macintosh でお使いの場合は、「.sit」の拡張子のファイルをクリックしてダウンロードしてください。

2　ファイルを解凍します。

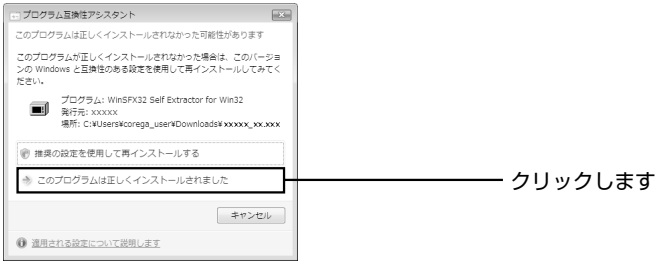
ダウンロードしたファイルは圧縮されているため、解凍する必要があります。次の手順は Windows Vista の場合の例として説明しています。

①ダウンロード先のフォルダを開き、ファイルをダブルクリックして解凍します。

②[実行] をクリックします。

③[OK] をクリックします。

・ 標準の状態では、「C:¥corega」に解凍されます。解凍先を指定する場合は、[参照] をクリックして場所を指定してください。
・ Windows Vista では引き続き次の画面が表示される場合があります。その場合は、「このプログラムは正しくインストールされました」をクリックしてください（弊社にて動作を確認しています）。



以上で、ファームウェアの更新の用意が完了です。続いて「ファームウェアを更新する」に進みます。

■ファームウェアを更新する

ここでは P.116「■ ファームウェアを用意する」の手順に従って、「C:¥corega」という名前のフォルダに最新のファームウェアを保存した場合を例として説明しています。

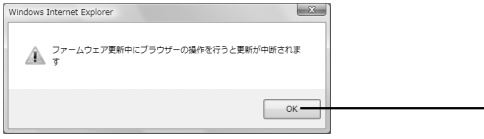
1 更新画面を表示します。

Web ブラウザで設定画面を表示して、画面左側のメニューから「管理」をクリックします。
「管理」画面で「ファームウェア更新」をクリックします。

2 ファームウェアを選択します。

更新するファームウェアを選択します。
①[参照] をクリックします。

②次の画面が表示されますので、[OK] をクリックします。



③「C:¥corega」フォルダ内のファームウェアを選択し、［開く］をクリックします。

クリックします

④［更新］をクリックします。

クリックします

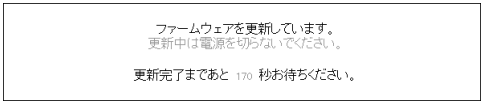
3 更新を開始します。

次の画面が表示されますので、［OK］をクリックしてファームウェアの更新を開始します。

クリックします

4　更新が完了するまで待ちます。

ファームウェア更新中は次の画面が表示されます。ファームウェアの完了が終了するまでお待ちください。



注意　**ファームウェアの更新中は、ほかの操作を行ったり、本商品の電源を切ったりしないでください。ファームウェアのアップデートに失敗すると、本商品が故障するおそれがあります。**

5　ファームウェアの更新が完了しました。

ファームウェアの更新が完了すると、ログイン画面が表示されます。Web ブラウザを閉じます。

6　本商品を工場出荷時の状態に戻します。

Resetボタンを 15 秒以上押して本商品を工場出荷時の状態に戻します。Reset ボタンはクリップなどの硬くて細いもので押してください。

注意　**ファームウェアを更新したあとは、必ず Reset ボタンで工場出荷時の状態に戻してください。設定画面の「工場出荷時の状態へ戻す」は実行しないでください。**

☞ P.128「6.3.5　工場出荷時の状態に戻したい」

以上でファームウェアが更新されました。
設定内容を保存している場合は、次の手順で設定し直してください。
☞ P.122「6.3.3　設定を保存したい／元に戻したい」

■ファームウェアの更新に失敗したときは

ファームウェアの更新に失敗したときは、いったん本商品を工場出荷時の状態に戻したあとで、再度ファームウェアの更新を実行してください。
☞ P.128「6.3.5　工場出荷時の状態に戻したい」

6.3.3 設定を保存したい／元に戻したい

設定した内容をファイルに保存しておくことや、保存した設定ファイルを読み込んで本商品を設定することができます。

■設定を保存する

1 設定画面を表示します。

設定画面を表示して、「管理」をクリックします。

2 設定ファイルを保存します。

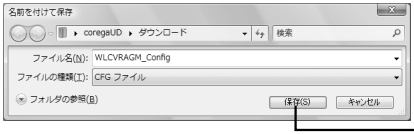
①「設定保存」の［保存］をクリックします。

クリックします

②［保存］をクリックします。

クリックします

③「名前を付けて保存」画面が表示されます。保存する場所を指定して［保存］をクリックし、設定ファイルを保存します。



クリックします

以上で、本商品に設定した内容をファイルに保存しました。

■設定を元に戻す

1　設定画面を表示します。

設定画面を表示して、「管理」をクリックします。

2　設定ファイルを読み込みます。

①「設定読込」の［読込］をクリックします。

クリックします

②［参照］をクリックします。

クリックします

Q&A

③「設定を保存する」で保存した設定ファイルを選択して、[開く]をクリックします。

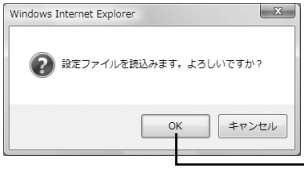
①選択します

②クリックします

④[読込]をクリックします。

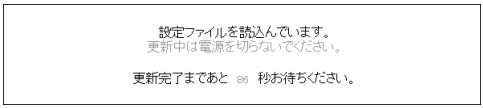
クリックします

⑤[OK]をクリックして読み込みを開始します。



クリックします

⑥「設定完了まであと xx 秒お待ちください。」と表示されますので、設定が完了するまでお待ちください。



画面に表示される秒数は、お使いの環境によって異なる場合があります。

⑦ファイルの読み込みが終了すると、ログイン画面が表示されます。

以上で、設定ファイルから本商品の設定の読み込みが完了しました。

6.3.4 再起動したい

設定の変更やファームウェアの更新など、本商品の状態を変更した場合は、本商品を再起動して設定を反映させてください。
本商品を再起動するには、次の 2 とおりの方法があります。

■電源を入れ直す

AC アダプタを電源コンセントから抜き、30 秒以上時間を空けてから電源コンセントに差し込みます。

> メモ 本商品が起動するまでにおよそ 2 分程度かかります。起動が完了するまでしばらくお待ちください。

以上で、本商品の再起動は完了です。

■設定画面で再起動する

1 設定画面を表示します。

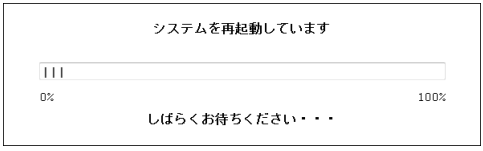
Web ブラウザで設定画面を表示して、画面左側のメニューの「管理」をクリックします。

2 再起動します。

①「再起動」の［実行］をクリックします。

②[OK] をクリックします。

③「システムを再起動しています。しばらくお待ちください・・・」と表示されますので、再起動が完了するまでお待ちください。



メモ　画面に表示される秒数は、お使いの環境によって異なる場合があります。

④[OK] をクリックします。ログイン画面が表示されます。

以上で、本商品の再起動は完了です。

6.3.5　工場出荷時の状態に戻したい

本商品の設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。設定した内容がすべて消去されますので、設定内容を保存しておくことをお勧めします。

☞ P.122「6.3.3 設定を保存したい／元に戻したい」

工場出荷時の状態に戻す方法は次の２とおりの方法があります。

■ Reset ボタンで工場出荷時の状態に戻す

1　ボタンを押します。

本商品の電源が入っている状態で、本体背面の Reset ボタンを15 秒以上押して、離します。

Resetボタンはクリップなどの硬くて細いもので押してください。

2　起動します。

Power LED 以外のLED がいったん消灯してから点灯します。

以上で本商品が工場出荷時の状態に戻ります。

■設定画面で工場出荷時の状態に戻す

1　設定画面を表示します。

Web ブラウザで設定画面を表示して、画面左側のメニューの「管理」をクリックします。

2　初期化します。

①「工場出荷時の状態へ戻す」の［実行］をクリックします。

②［OK］をクリックします。

③「システムを工場出荷時の状態へ戻しています。しばらくお待ちください。」と表示されますので、再起動が完了するまでお待ちください。

> **注意**　**IP アドレスや無線の設定を変更している場合は完了画面は表示されません。2 分ほど時間を空けてから Web ブラウザで設定画面を表示し直してください。**

以上で、本商品は工場出荷時の状態に戻りました。

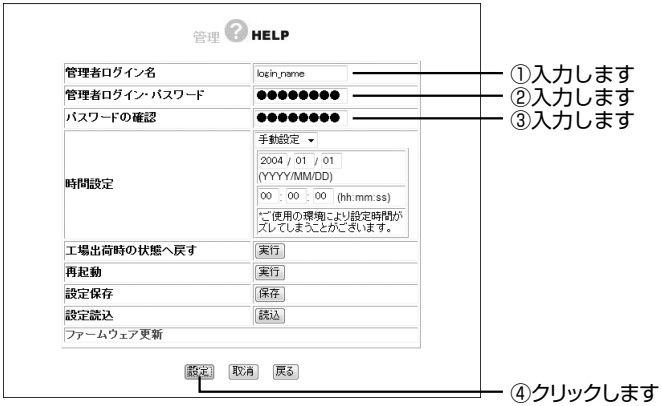
6.3.6 ユーザ名（管理者ログイン名）、パスワードを変更したい

本商品のユーザ名（管理者ログイン名）、パスワードは次の手順で変更できます。

1 設定画面を表示します。

設定画面を起動して、画面左側のメニューで「管理」をクリックします。

2 次のように設定します。



①新しく設定するログイン名を入力します。
②新しく設定するパスワードを入力します。
③確認のため②で入力したパスワードを再度入力します。
④［設定］をクリックします。

3 ログアウトします。

設定画面更新後に画面右上の［ログアウト］をクリックします。次回ログイン時から新しいログイン名、パスワードでログインします。

6.3.7　パソコンの IP アドレスを調べたい

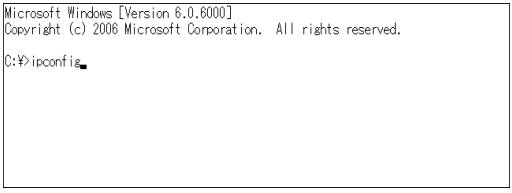
パソコンの IP アドレスやネットワーク環境は次の方法で確認できます。Windows 以外の OS をお使いの場合は、OS のヘルプや取扱説明書をご覧ください。

1　コマンドプロンプトを起動します。

「スタート」－「すべてのプログラム」（Windows 2000 の場合は「プログラム」）－「アクセサリ」－「コマンドプロンプト」の順にクリックします。

2　ipconfig コマンドを入力します。

コマンドプロンプト上で、キーボードから「ipconfig」と入力して「Enter」キーを押します。

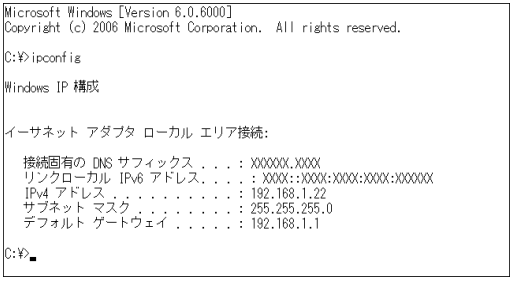


※画面は Windows Vistaの例

3　内容を確認します。

「IPv4 アドレス」（「IP Address」）に表示された数字が、お使いのパソコンの「IP アドレス」です。

「サブネットマスク」（「Subnet Mask」）、「デフォルトゲートウェイ」（Default Gateway）に表示された数字がネットワーク環境です。



※画面は Windows Vistaの例

6.3.8 パソコンの IP アドレスを設定したい

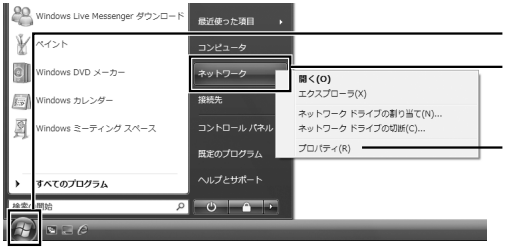
本商品の設定画面を表示するには、以下の手順でパソコンの IP アドレスを設定する必要があります。

■ Windows Vista の場合

> メモ　必ず「コンピュータの管理者」または「Administrator（アドミニストレータ）」権限のあるユーザでログオンしてください。

1　ネットワークと共有センターを表示します。

［スタート］をクリックします。［ネットワーク］を右クリックして「プロパティ」をクリックします。

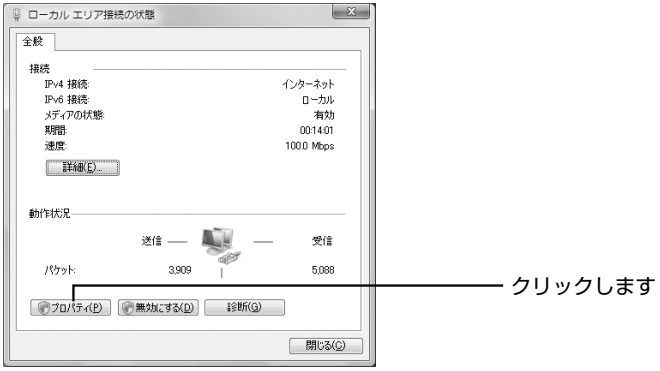


2　ローカルエリア接続の状態を表示します。

「状態の表示」をクリックします。

3　ローカルエリア接続のプロパティを表示します。

［プロパティ］をクリックします。

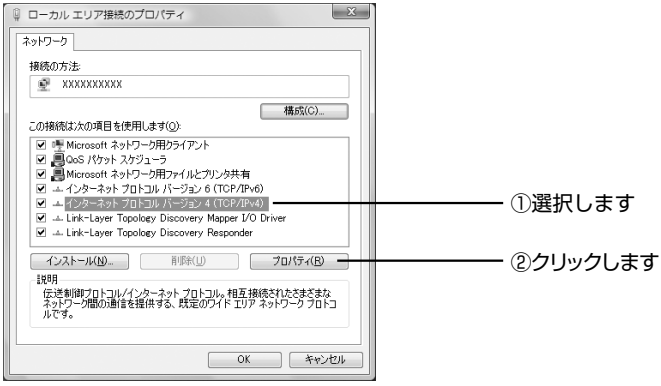


4　「ユーザーアカウント制御」が表示されます。

［続行］をクリックします。

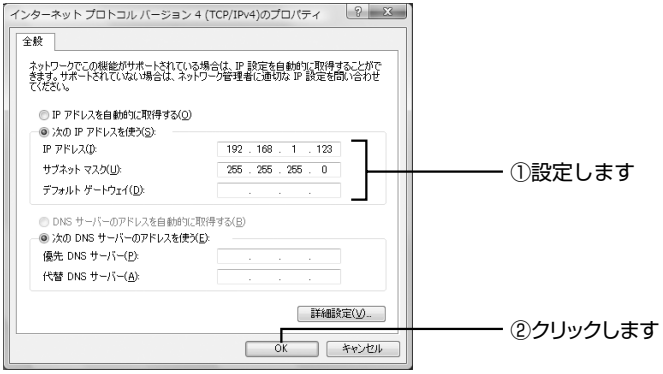
5　TCP/IP のプロパティを表示します。

「インターネットプロトコルバージョン４（TCP/IPv4)」を選択して、［プロパティ］をクリックします。



6 IP アドレスを設定します。

次の項目を設定して、［OK］をクリックします。



IP アドレス	192.168.1.XXX （XXX は 1 ～ 254 で、230 と 235 以外の任意の数値）
サブネットマスク	255.255.255.0

7 画面を閉じます。

「ローカルエリア接続のプロパティ」で［OK］をクリックして画面を閉じます。

以上で、本商品の設定画面を表示するための IP アドレスの設定は完了しました。

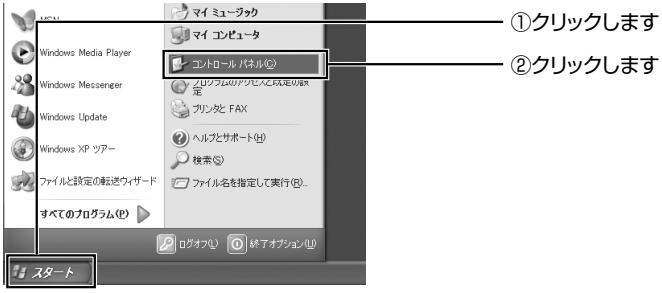
■ Windows XP ／ 2000 の場合

注意

- 本書では Windows XP Professional を例に説明しています。お使いの環境によって表示される画面が異なる場合があります。
- 管理者（Administrator）権限でパソコンにログオンしてください。

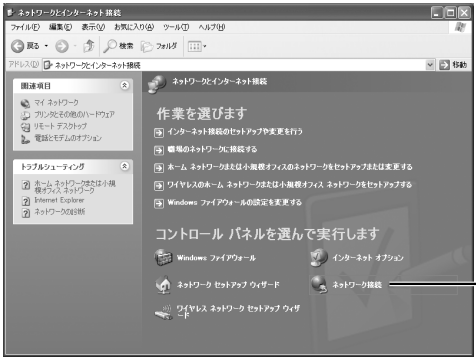
1 コントロールパネルを表示します。

「スタート」－「コントロールパネル」をクリックします（Windows 2000 の場合は、「スタート」－「設定」－「コントロールパネル」をクリックします）。



2 ネットワーク接続を表示します。

「コントロールパネル」の「ネットワークとインターネット接続」をクリックして、「ネットワーク接続」をクリックします（Windows 2000 の場合は、「コントロールパネル」の「ネットワーク接続」をダブルクリックします）。



メモ

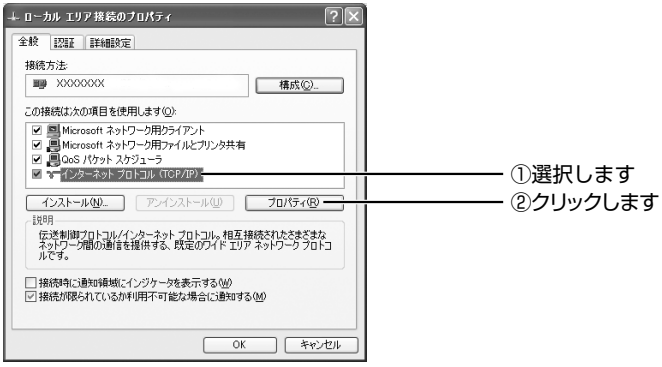
Windows XPで「ネットワークとインターネット接続」が表示されていない場合は、画面左側の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックしてください。

3　ローカルエリア接続のプロパティを表示します。

「ローカルエリア接続」を右クリックして、「プロパティ」をクリックします。

4　TCP/IP のプロパティを設定します。

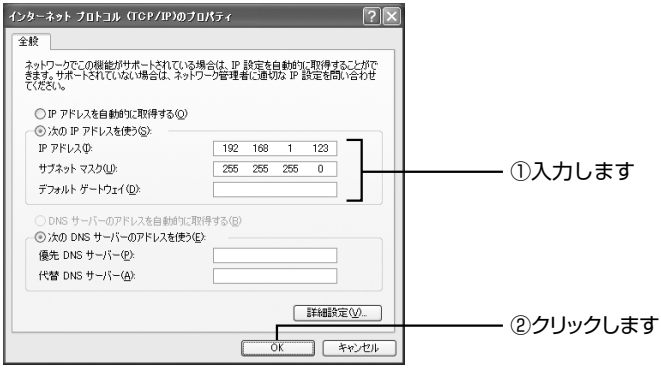
「インターネットプロトコル（TCP/IP)」を選択し、［プロパティ］をクリックします。



Q&A

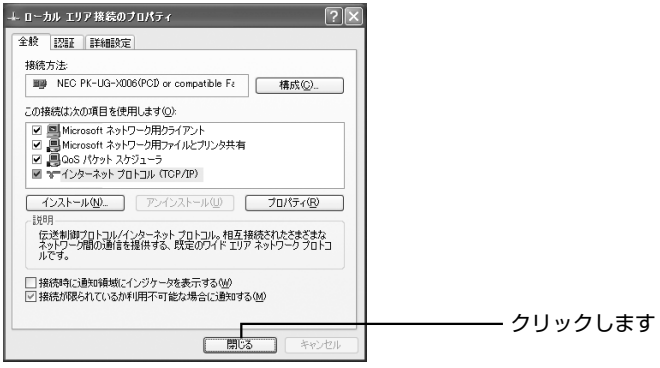
5 IP アドレスを設定します。

「次の IP アドレスを使う」を選択し、次のように IP アドレスとサブネットマスクの設定をして［OK］をクリックします。



6 設定を適用します。

「ローカルエリア接続のプロパティ」画面で［閉じる］をクリックします。



7 再起動します。

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、パソコンを再起動します（ダイアログボックスが表示されなかった場合も、手動で再起動してください）。

以上で、設定用パソコンのネットワーク設定は完了です。

付録

壁掛け用ネジセットを取り付ける 140
仕様一覧 142
工場出荷時設定 144
保証と修理について 145
おことわり 146

壁掛け用ネジセットを取り付ける

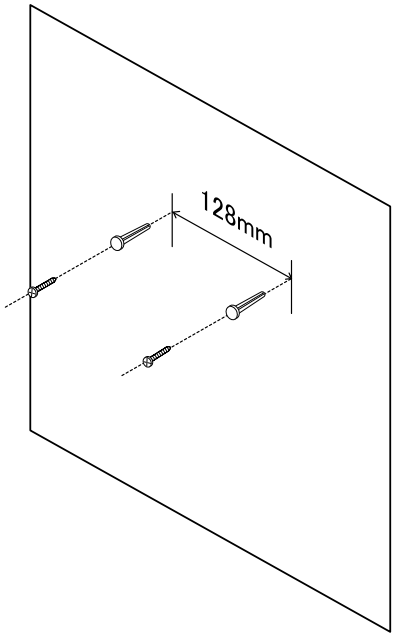
本商品は付属の壁掛け用ネジセットを使用して、壁面へ取り付けることができます。

1 準備します

本体底面のゴム足をすべて取り外します。

2 壁にネジを埋め込みます

壁掛け用ネジ穴の間隔で、付属の壁掛け用ネジセットのネジ（2本）を壁などに埋め込みます。ネジは最後まで埋め込まず、ネジ頭を約5mm 残します。

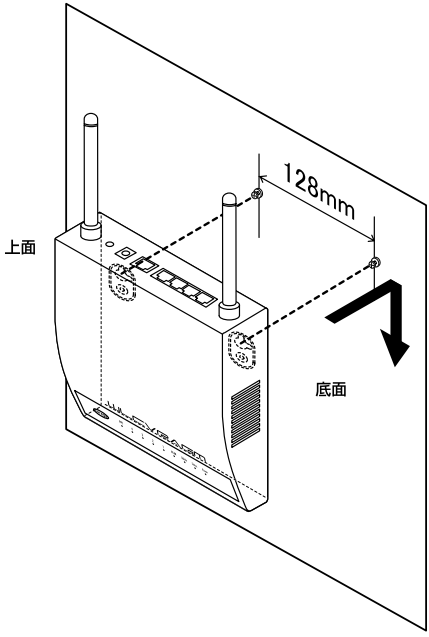


メモ

石膏ボードやベニヤなど、中空になっていてネジが埋め込みづらい場合は、壁掛けネジセットのプラスチックアンカ（2 個）を併用します。ネジを埋め込む位置に、キリやドリルなどで穴を開けておき、プラスチックアンカをかなづちで軽く叩いて壁に埋め込みます。穴はプラスチックアンカがぴったり入る程度の大きさにしてください。穴が大きすぎると、がたつきの原因になり、落下による破損やけがの原因になるおそれがあります。

3 本体を壁に取り付けます

本体の壁掛け用ネジ穴を壁に埋め込んだネジ頭に合わせます。本体を下にスライドさせて、しっかり固定します。



注意 **本商品やケーブルの重みによって本商品が落下しないように、設置場所に取り付けたあとで確実に固定されていることを確認してください。**

仕様一覧

サポート規格	無線 LAN		（国際規格）IEEE802.11a/IEEE802.11g/IEEE802.11b/IEEE802.11
			（国内規格）ARIB STD-T66/STD-T71
	LAN		IEEE802.3u（100BASE-TX）/IEEE802.3（10BASE-T）/IEEE802.3x（Flow Control）
取得承認			VCCI クラス B、技術基準適合証明
推奨ブラウザ			Internet Explorer 6.0 以上、Safari 1.2 以上
無線 LAN 仕様	周波数帯域	クライアントモード時	[IEEE802.11a（J52）] 5.170GHz ～ 5.230GHz（中心周波数表示）
			[IEEE802.11a（W52/W53）]5.180GHz ～ 5.320GHz（中心周波数表示）
			[IEEE802.11g/b] 2.412GHz ～ 2.472GHz（中心周波数表示）
		アクセスポイントモード時	[IEEE802.11a（W52/W53）]5.180GHz ～ 5.320GHz（中心周波数表示）
			[IEEE802.11g/b] 2.412GHz ～ 2.472GHz（中心周波数表示）
	チャンネル数	クライアントモード時	[IEEE802.11a（J52）] 4ch （34/38/42/46ch）
			[IEEE802.11a（W52/W53）]8ch （36/40/44/48/52/56/60/64ch）
			[IEEE802.11g/b] 13ch （1 ～ 13ch）
		アクセスポイントモード時	[IEEE802.11a（W52/W53）]8ch （36/40/44/48/52/56/60/64ch）
			[IEEE802.11g/b] 13ch （1 ～ 13ch）
	伝送速度		[IEEE802.11a/g] 54/48/36/24/18/12/9/6Mbps
			[IEEE802.11b] 11/5.5/2/1Mbps
	伝送方式		OFDM（直交周波数分割多重変調方式）、DS-SS（直接拡散型スペクトラム拡散方式）
	通信モード		Infrastructure（クライアントモード、アクセスポイントモード）
	アンテナ形式		固定式ダイポールアンテナ× 2
	セキュリティ	クライアントモード時	SSID（IEEE802.11 : ID（文字列）による識別）、 WEP（64/128bit）、 WPA-PSK（パーソナル）、WPA2-PSK（パーソナル）、 TKIP/AES（WPA/WPA2 の設定内に含む）
		アクセスポイントモード時	SSID（IEEE802.11 : ID（文字列）による識別）、 WEP（64/128bit）、 WPA-PSK（パーソナル）、WPA2-PSK（パーソナル）、 TKIP/AES（WPA/WPA2 の設定内に含む）、 ステルス AP（ESSID 名隠蔽、ANY 拒否）、MAC アドレスフィルタリング

LAN 仕様	**規格**	100BASE-TX/10BASE-T、Full Duplex/Half Duplex オートネゴシエーション
	ポート	RJ-45 × 5 ポート（アップリンクポートを含む）（全ポート MDI/MDI-X 自動認識）
電源仕様（ACアダプタ）	**定格入力電圧**	AC100V（50/60Hｚ）
	定格入力電流	300mA
最大消費電力		8W
環境条件	**動作時**	温度 0 ～ 40℃／湿度 5 ～ 90%（結露なきこと）
	保管時	温度 − 20 ～ 60℃／湿度 5 ～ 95%（結露なきこと）
外形寸法		154（W）× 119（D）× 33（H）mm 本体のみ（アンテナ / 突起部を含まず）
質量		260g 本体のみ

工場出荷時設定

■クライアントモード

工場出荷時はクライアント（子機）モードに設定されています。クライアント（子機）モード時の初期設定は次のとおりです。

モード切替スイッチ	CVR
動作モード	クライアント
IP アドレス	192.168.1.235
ログイン名（管理者ユーザ名）	root
パスワード	（空欄）
ネットワーク名（SSID）	corega
認証方式	Open System
暗号方式	無効

■アクセスポイントモード

モード切替スイッチを「AP」にすると、アクセスポイント（親機）モードになります。アクセスポイント（親機）モード時の初期設定は次のとおりです。

モード切替スイッチ	AP
動作モード	アクセスポイント
IP アドレス	192.168.1.230
ログイン名（管理者ユーザ名）	root
パスワード	（空欄）
ネットワーク名（SSID）	本体底面の「AP モード時」の「ネットワーク名（SSID）」に記載
認証方式	WPA/WPA2-PSK
暗号方式	AES/TKIP
初期 PIN コード（ネットワークキー）	本体底面の「AP モード時」の「初期PIN コード」に記載

保証と修理について

■保証について

別紙の「製品保証規定」を必ずお読みになり、本商品を正しくご使用ください。無条件で本商品を保証するということではありません。正しい使用方法で使用した場合のみ、保証の対象となります。本商品の保証期間については、保証書に記載されている保証期間をご覧ください。

■修理について

故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書をご覧いただき、設定や接続が正しく行われているかを確認してください。現象が改善されない場合は、弊社ホームページに掲載されている「修理依頼用紙」をプリントアウトの上、必要事項を記入したものと製品保証書および購入日の証明できるもののコピー（レシートなど可）を添付し、商品（添付品一式とともに）をご購入された販売店へお持ちください。修理をご依頼する際は、以下の点にご注意ください。

- 修理期間中の代替機などは弊社では用意しておりませんので、あらかじめご了承ください。
- 保証書に販売店の押印がない場合は、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。
- 商品購入日の証明ができない場合、無償修理の対象となりませんのでご注意ください。
- 修理依頼時の運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

※弊社へのお持ち込みによる修理は受け付けておりません。

■有償修理について

有償修理の場合は、ご購入の販売店へお持ちください。下記ホームページに有償修理価格が記載されておりますのでご覧ください。

http://corega.jp/repair/

おことわり

・本書は、株式会社コレガが作成したもので、すべての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
・予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
・改良のため商品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。

本商品は国内仕様となっており、外国の規格などには準拠しておりません。日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本商品は、GNU General Public License Version 2に基づき許諾されるソフトウェアのソースコードを含んでいます。これらのソースコードはフリーソフトウェアです。お客様は、Free Software Foundationが定めたGNU General Public License Version 2の条件に従ってこれらのソースコードを再頒布または変更することができます。これらのソースコードは有用と思いますが、頒布にあたっては、市場性及び特定目的適合性についての暗黙の保証を含めて、いかなる保証も行ないません。詳細については、コレガホームページ内の「GNU一般公有使用許諾書（GNU General Public License）」をお読みください。なお、ソースコードの入手をご希望されるお客様は、コレガホームページ、サポート情報内の個別製品の「ダウンロード情報」をご覧ください。配布時に発生する費用はお客様のご負担になります。

Copyright©2007　株式会社コレガ
corega は、株式会社コレガの登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカの登録商標または商標です。

2007年10月　初版

【コレガ FAX サポートセンタ　045-476-6294】

お問い合わせ用紙　※ CG-WLCVRAGM 専用お問い合わせ用紙

お電話にてお問い合わせをいただいた場合、製品の仕様上、環境や現象などを正確に把握して、問題を解決するまでにお時間がかかる場合がございます。お手数ですが、なるべく FAX・Mail サポートをご利用頂きますようお願いします。

お問い合わせ日：　　年　月　日

コレガサポートセンタにご質問される場合、お問い合わせ商品に関する以下の情報をご記入ください。

会社名		**部署名**	
フリガナ		**ご購入先**	
ご担当者名			
ご連絡先	TEL： 携帯電話：　　FAX：		

商品を複数台お使いの場合はその旨ご記入ください。

商品名（型番）		**ファームウェアバージョン**	
シリアル番号	(S/N) □□□□□□□□□□□□□□□ Rev.□□		

以下にご利用のネットワーク構成やご利用環境をご記入ください。

以下にご質問内容をご記入ください（□にチェックを付けてください）。

□トラブル　（□常に発生する　□特定の動作をすると発生する　□不定期に発生する）
□設定方法　（□初期など　□購入後）

□別紙有り（ログデータ、設定画面、書ききれない場合などある場合は、添付してください）

－　このページをコピーしてお使いください　－
メールサポートも承っておりますのでご検討ください　http://corega.jp/faq/

■コレガホームページのご案内

コレガホームページでは、各種商品の最新情報、最新ファームウェア、よくあるお問い合わせなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをおすすめします。

http://corega.jp/

■商品に関するご質問は・・・

商品のご質問はコレガサポートセンタまでお問い合わせください。お問い合わせの際にはコレガホームページ掲載の「お問い合わせ用紙」または下記の必要事項をご記入いただいた書面を用意して、メール、FAX、電話でのいずれかでお問い合わせください。

●お問い合わせ先

【コレガサポートセンタ】

Mail サポート：下記URL からユーザ登録をしたあと、お問い合わせをしてください。

http://corega.jp/faq/

FAX：045-476-6294

TEL：045-476-6268

〈受付時間〉

10：00 ～ 12：00、13：00 ～ 18：00　月～金（祝・祭日を除く）

※サポート内容、電話番号など、予告なく変更する場合があります。最新情報はコレガホームページ（http://corega.jp/）をご覧ください。

※本商品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、日本語版の OS のみ動作を保証しています。そのため、日本語版 OS 以外のお問い合わせはお受けできませんのでご了承ください。

※サポートセンタへのお問い合わせは日本語に限らせていただきます。
This product is supported by Japanese only.

※電話が混み合っている場合は、Mailサポートおよび FAXサポートをご利用ください。

●必要事項

あらかじめ下記の必要事項を控えておいてください。

- 商品名
- シリアル番号（S/N）、リビジョンコード（Rev.）
- お名前、フリガナ
- 連絡先電話番号、FAX 番号
- 購入店
- 購入日付
- お使いのパソコンの機種
- OS
- 接続構成

PRINTED WITH SOY INK　本書は再生紙を使用しています。